

平成三十年六月一日発行（毎月一回一日）
書象 第六十六卷 第六号 通巻七五一号

書
系



私たちが「日本の書道文化の
ゴネス、無形文化遺産登録を
応援しています。」

日本書道芸術協会

2018-
6

卷頭言

夏季合宿で仲間と学ぼう

副理事長 虎井暁鐘

恒例の書象会夏季合宿鍊成会が、三年ぶりに群馬県草津温泉ホーテル櫻井で、八月五日から六日の一泊二日で行われます。一月に噴火した本白根が近くにあることで、不安に思う方もおられるようですが、距離的には遠いので心配することもないと思われます。

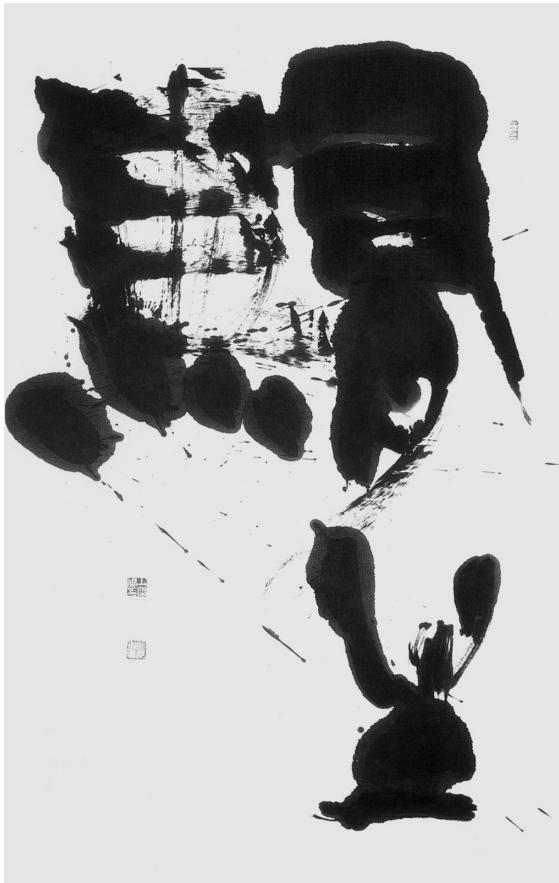
今回は一泊二日となるため練習時間が短くなりますので、密度の濃い緊張した雰囲気の中での鍊成となることが予想されます。残念ですが温泉をゆっくり楽しむことは難しいかもしれませんね。

さて、合宿では「書象誌半紙課題」「信山流条幅」「書象展」「謙慎展A」「謙慎展B」「日展」の六部門があつて、各自が自由に一部門を選ぶことができます。鍊成時間の短い今回は、勉強の間口をあまり広げないで、あらかじめ自分の学びたいと思うものを目標に立てて、準備しておくとよいでしょう。

上條信山先生書「有生無」一九九一年現代書道二十人展

日頃、直接指導を受けることができない本部の先生方に指導を受けることができるのも合宿ならではの大きな魅力です。練習の合間には質問コーナーもありますので、大いに活用していただきたいと思います。前もって質問を用意しておくと良いでしょう。例えば、作品を書く時に中心がずれて曲がってしまうことを悩んでいる方が結構多いようですが、これなども先生方のチョットしたアドバイスが、良い薬となることでしょう。

たくさん書くことは自宅でもできますが、合宿でしか見ることのできない、聞くことができない貴重な体験は、一生の宝物です。また、一緒に鍊成する仲間たちの熱心な勉強ぶりからも得ることが多いのも合宿の良いところです。厳しい中にもたのしい鍊成が、皆様を待っています。是非、大勢の会員がご参加されますことを期待しております。



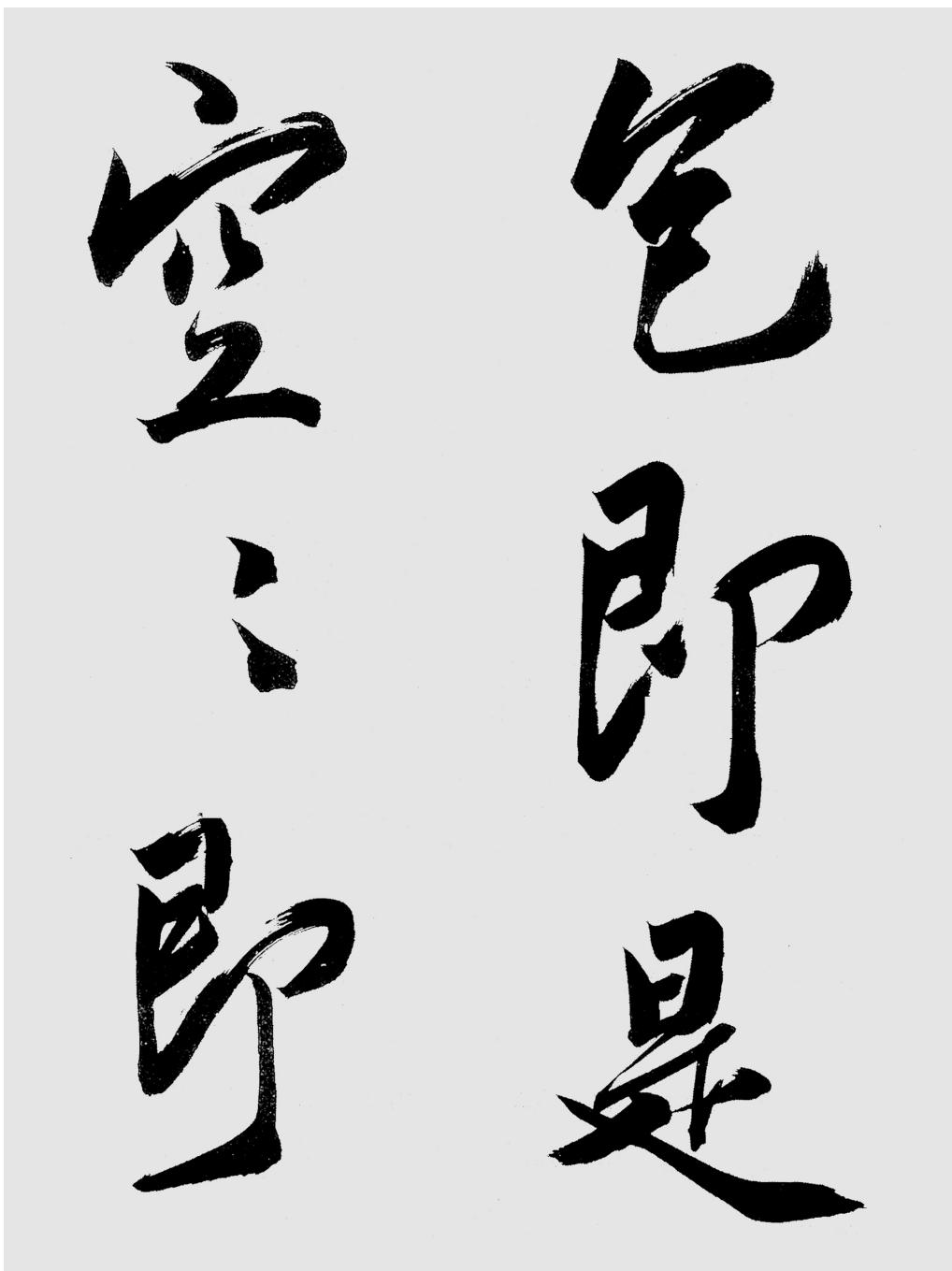
基 本【基本】

宮島詠士先生書



衛門美濃國安

6月20日必着。入選作のみ発表します。出品券を貼付



出品券を貼付
6月20日必着

即

空

即…偏から旁へのびや
かに連続する。最
終画は、左下方向
にゆつたりと。

空…ウ冠は右上りに、
最終画は右上りを
押させて安定させ
る。

是

是…文字の中心と「仄」
の縦画の位置がボ
イント。

即

即…偏と旁の高さを意
識したい。

空

空…上部を大きくする。
文字の中に氣をつ
けて、縦の流れを出
したい。字形や空間、偏と旁
の位置にも注意し、
のびやかに書く。

・左右の画に広がりを持たせてリズミカルに書く。

異：下部の二つの点を左右に張り出させ安定させる。



「異」の筆順

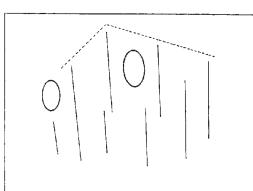
色…上部を大きく太い線で入る。最終画は勢いよく上へ跳ね上げる。



仮名規定【仮規】（師範・準師範・段位）

上條信山先生書

半紙横の展開で、構成は左図の通り。また、墨量の変化にも注目し、中央左の「雲井に(二)」は渴筆で軽快に書く。



「な(那)み(三)」
「わた(多)の原」
「見れば(盤)」

わた(多)の原こぎ(支)いでて(ノ)見れば(盤)久方の
雲井に(二)ま(万)が(司)ふ冲つしらな(那)み(三)

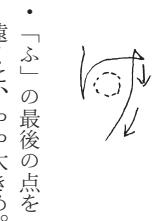
(詞花和歌集)

6月20日必着
出品券を貼付

仮名規定【仮規】（級位）

上條信山先生書

- ・「け」「」の三画目の縦
画は、垂直に下ろし
て左下へ。



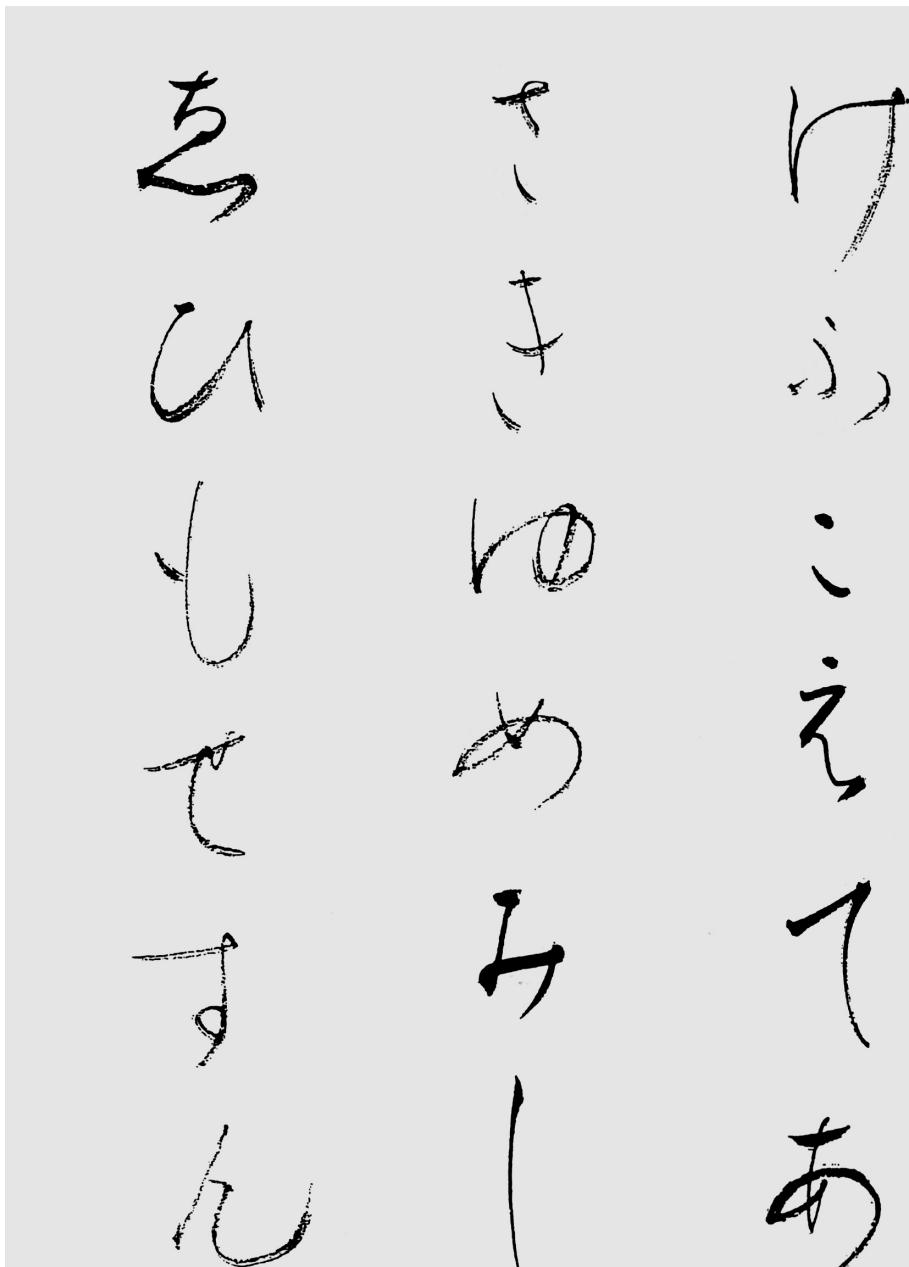
- ・「ふ」の最後の点を
遠くに、やや大きめ。



- ・「き」の一、二画目
の間を離す。



けふこゝえてあさきゆめみしるひもせすん



- ・「ゆ」「せ」「ん」の
形に留意。





カタカナは小さめ、漢字は強調された線、空間のとり方に留意する。

印は強調された画。

印の空間を意識したい。

漁 穷
歌 通

君ニ問ウ窮通ノ理
漁歌浦ニ入ツテ深シ

6月20日必着

出品券を貼付

入選作のみ発表します



雨中山果落（王維の句）

条幅隨意【条隨】

内藤望山先生書

- ・五字の中心を通します。
- ・「山」は小さめにします。
- ・「雨」「果」「落」の右払いの違いを工夫する。

入選作のみ発表します

出品券を貼付



爲皇帝造石像一區。張弘興。劉苟生。陳野虎。
(馬振邦等三十四人造像記臨書)

- ・北魏楷書は文字の左傾斜が多い（縦画は垂直ではないことが多い）。
- ・逆入筆で運筆し、重厚感を表現したい。
- ・「折れ」の筆法はP.14参照。

自燃也

中学二・三年規定【学毛】

田中節山先生書

科學地理

中学一年規定【学毛】

樋口玄山先生書

小学五年規定【学毛】

大澤精光先生書

文
字
と

小学六年規定【学毛】

宮本耕成先生書

人
母
の
雨

小学三年規定

【學毛】

燕木珠紅先生書

立人毛筆

小学四年規定

【學毛】

小潤石峯先生書

毛筆人立

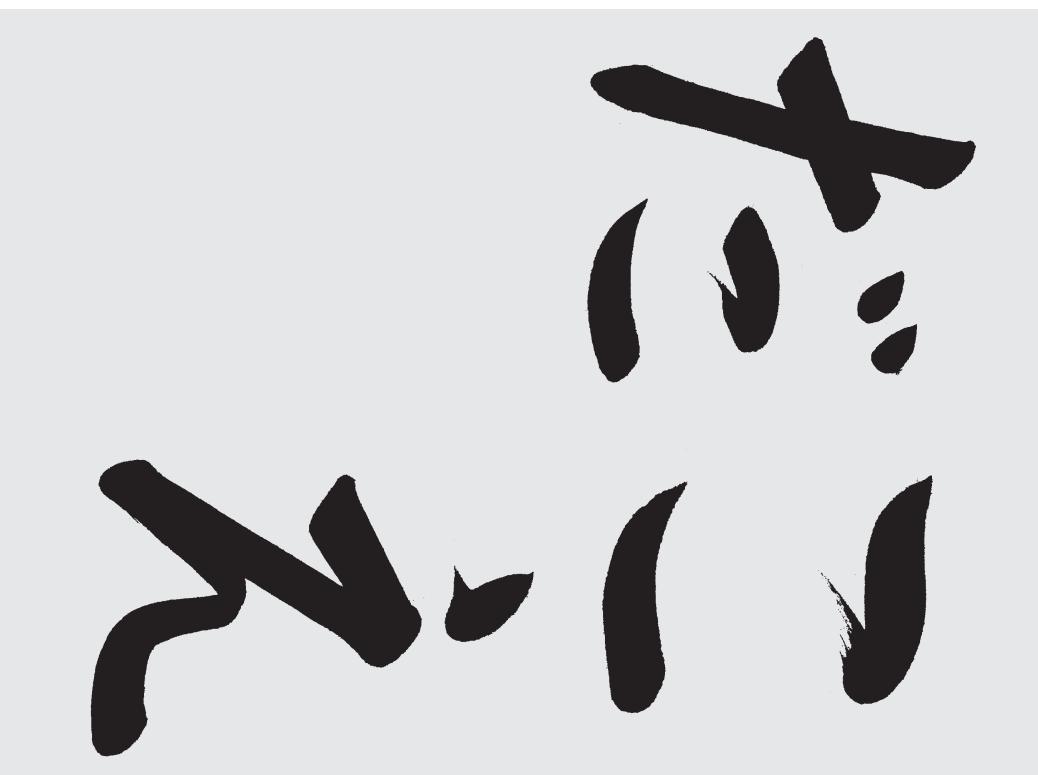
小学一年規定
【学毛】

露崎玄峯先生書



小学二年規定
【学毛】

小室墨汀先生書



硬筆規定

今日の休息は（所）はじめて意義あるものとな（那）る準備であつてこそ
一般規定【二硬】（師範・準師範・段位） 上條信山先生書

今日の休息も明日の仰せ
準備であつて二硬

意義あるものとります。

一般規定【二硬】（級位）

二瓶嶽風先生書

どいほど真っすぐに見えても、それ
が歩んだ道は曲がりくねつていて、
木下直之のことば

六月は雨の日が続きます。雨の音

を聞きながら、落ち着いて勉強
をしようと思ひます。氏石

中学規定【学硬】

虎井暁鐘先生書

一般規定【二硬】（師範・準師範・段位）

上條信山先生書

小・中学生随意課題【学隨】

左の字句を半紙に書いてください。

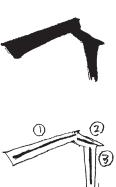
表現自由。入選作のみ発表します。
出品券を貼付して下さい。

小 一・二年 学	口	五 小 一・二年 学	品物	中 三・四年 学	店
中 学	知識	中 学		中 学	

手本解説

・基本 「衛」「濃」「國」「安」は左図参照。

・条幅随意 点画「折れ」を三画で表現する。



- ・小学三四年硬筆規定 「天使のはしご」の説明
雲間から太陽光線が地上に降り注ぐように見える現象のこと。

学生部規定



中学二・三年



中学一年

「自」の縦画は垂直、横画は等間隔に。
「然」の七画目を止めるのは許容の書き
方。「を」の二画目は右上がり、「守」の
冠を最大幅にし、二画目は中心より右か
ら書く。「る」は・で筆先を整える。

「西」の縦画は内側に向かう。「洋」は平偏
行、等間隔に書く。「料」は米偏は等間隔で
点画を配置する。「理」は偏と等の組み合
わせ方に気を付ける。最終画は長めに。

わたしたちの体には、自分を
守るために、たくさん仕組
みがあります。

名前　　支部　年　　級段

小学三・四年規定【学硬】
大島皎山先生書

雨がやみ、雲の切れ間から
「天使のはしご」とよばれる

光が見えた。

名前　　支部　年　　級段

小学一・二年規定【学硬】
藤森大節先生書

れ	も	お
ま	の	母
し	を	さ
た	見	ん
.	つ	が
なまえ	け	さ
支部	け	が
年	て	く
きゅうだん	く	し

*出品券を貼付
して下さい。

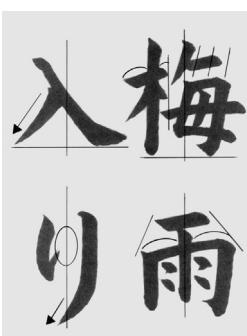
一般(師範・準師範・段位)・一般(級位)・中学生は鉛筆使用のこと(中学生は鉛筆使用のこと)。小学生は鉛筆使用のこと。作品の大きさ→たて18cmよこ7cm小一・二課題→2.1cm巾のマス目。紙を使用する。小三・四・五・六課題→2.1cm巾の罫線を引く。



小学二年



小学四年



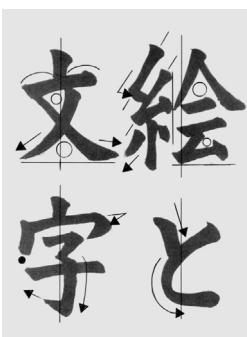
小学六年



小学一年



小学三年



小学五年

「こ」の概形は縦長の四角形を意識する。
「え」の一画目は中央から書き始め、筆
脈を意識して書き進める。「だ」の三、四
画目の大きさ、位置をよく見る。

「舟」の一画目は倒し氣味にする。五画
目を点にするのは許容の書き方。「を」
は折れと曲がりの筆使いの違いに「氣」の付
ける。「出」の縦画は等間隔に。「す」の二
画目は中心より右側から書く。

「梅」の一画目は左に長く。「母」の内部
の余白の広さに注意する。「雨」は点の部位
置、角度を整える。「入」は二画目始筆の
筆使いを意識し、下部を揃える。「り」
の概形は縦長の四角形になるよう。

「と」は、一、二画目の筆脈を意識し、
字幅は下部を狭くする。「り」は左右の
向かい合う線の長さ、角度に気を付ける。
二画目は縦気味にするとよい。

「か」の一画目の曲がりが中心にくるよ
うにする。「さ」の一画目はやや反り上
がる。「立」の一画目は中心から書き始め、
横画を二等分する。「て」は折れか
ら終筆までの筆運びをスムーズに。

「絵」の糸偏は旁よりも幅を狭くし右端
は揃える。「と」は一画日の角度に注意。
二画目はゆったりと大きく回る。「文」
は左右の払いを最大幅にし、下部を揃え
る。「字」の二画目の終筆は止める。

古典研究シリーズ ④〇【古典】

温泉銘 唐六四八年

太宗 (五九八～六四九年)

フランス国立図書館蔵 (拓)

今月のテーマ

写実的臨書

大・中字 (二字～四字)

書き方

①文字数を間違えないで出品して下さい。

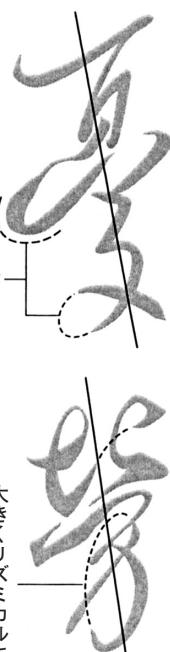
②続ぎ文字でなくとも構いません。

③落款を入れて下さい。

④作品の表左下に、支部名と氏名又は号を鉛筆で記入して下さい。古典研究の出品券を貼付して下さい。

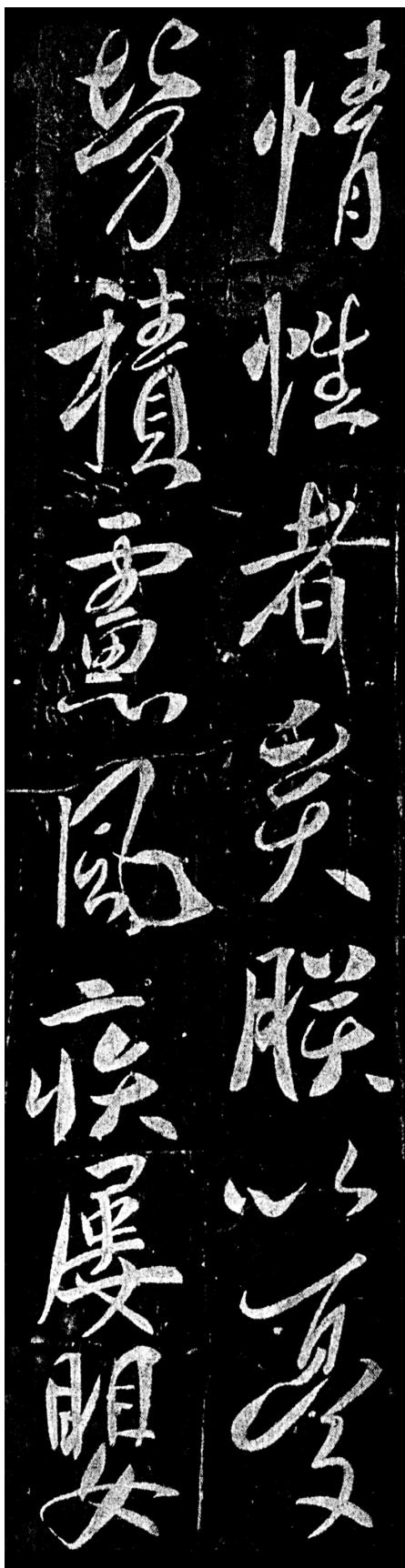
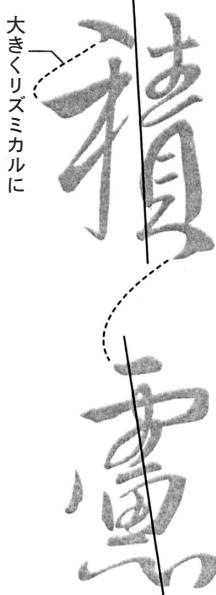
(編集部)

左に傾いた字形と、曲・直の変化のある動きに注意



大きくりズミカルに

大きくりズミカルに



〔詒文〕情性者矣朕以憂勞積慮。風疾屢嬰。

今月号から「温泉銘」です。しばらく続きます。
太宗は王羲之の書を根底に据えながら、筆を自在に抑揚させ、骨力豊かで
皇帝らしい氣宇の大きな書風を示しています。左の四字図版は参考です。

松本市美術館便り

上條信山記念展示室 平成三十一年五月十五日(火)～九月二十四日(月・祝)

何が見える？ 古代文字の書 パートⅡ

2014年夏に開催し、ご好評をいただいた企画の第一弾！
古代文字には不思議な魅力がありっぱい。筆を使って墨で紙に書けば、○△の組み合わせがにじんだりかすれたり。できあがった形は今にも動き出しそうです。

まずはじっくりと作品を見てみましょう。近づいたり、はなれたり、何が見えてくるでしょうか？

※会期中、一部展示替えがあります (前期)5月15日～7月29日 (後期)7月31日～9月24日

何が見える？ 古代文字の書 パートⅡ

No.	展示	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	主要展覧会
1	上條信山	牧羊		32.6×34.3		
2		玄塵		69.2×56.4		
3		遊月	昭和57年(1982)	66.0×140.6	第26回朝日二十人展	
4		技入神	昭和46年(1971)	115.0×66.5	第15回朝日二十人展	
5		無形		79.5×33.7		
6		楽天知命		140.0×33.9		
7		幽玄	平成4年(1992)	124.8×69.6		
8		素朴	昭和46年(1971)	70.3×139.0	第15回朝日二十人展	
9		金石之交	昭和46年(1971)	69.0×130.4	改組第3回日展	
10		従善如流		34.6×33.3		
11	秋山白巖	畜牛慰靈碑(拓本)	明治42年(1909)建立	142.3×67.0		
12		四言六句	昭和6年(1931)	各138.0×54.0		
13		天壤無窮	昭和初期	131.5×33.5		
14		万歳	昭和10年(1935)	138.5×69.0		
15	徐三庚	天發神讖碑臨書	光緒13・明治20年(1887)	各130.8×31.4		
16		篆書出師表	光緒13・明治20年(1887)	各頁31.0×20.6		

*展示／空欄は全期間展示 【前期】5月15日(火)～7月29日(日) 【後期】7月31日(火)～9月24日(月祝)

信州総文祭開催企画 上條信山大字代表作選

No.	展示	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	主要展覧会
1	上條信山	谷神不死	昭和37年(1962)	202.3×68.2	第5回新日展	
2		堅勁	昭和44年(1969)	132.2×60.4	改組第1回日展	
3		相忘	昭和54年(1979)	90.0×164.0	改組第11回日展	
4		壯心	昭和62年(1987)	81.8×153.2	改組第19回日展	



上條信山「堅勁」

ください。
燐然と輝きを放
つ逸品をご堪能
ください。
日本書道史で
た80歳代の作
れず、さかんな
心を燃やし続け
《壯心》。

信州総文祭開催企画 上條信山大字代表作選

今夏、松本市美術館で全国高等学校総合文化祭「書道部門」が開催される機会にあわせ、上條信山先生の大字代表作を厳選してご紹介します。

師風からの脱却を模索した50歳代の作《谷神不死》。自己を強く打ち出した60歳代の作《堅勁》。世界的視野に立ち、視覚性・空間性を強く意識した70歳代の作《相忘》。もはや何ものにも捉われず、さかんな心を燃やし続けた80歳代の作《壯心》。



秋山白巖「万歳」



上條信山「金石之交」

第八十回 謙慎書道會展（受賞作品）

春興賞

小山春聲

梅花賞

小室墨汀

青山斷客塔層層隔岸人家喚故應江上秋深未急傳鐘
鼓到西興竹外垂瓦三兩移春江多暖陽先初蕙萬滋
地蘆葦綠區是河豚跳上時梨花淡自柳深香御繁春
落花滿城惆悵東廻一株雪人生看日幾清明春聲一回

對酒寂不語悵然悲送君明時未得用
白首徒攻文渾園從一官洛波哉千

王群公滿天關獨去通淮水舊家富
春渚嘗憶臥江樓自問石欲行頰
望南徐州寒巷獨聞門寒鐘靜深
屋北風吹微雪袍被肯同宿君行到
京口正是桃花時舟中飲孤與湖上
多新詩潛虬且深蟠黃鸝飛未曉
惜君青雲器努力加彌飯墨汀

春興賞

洪江皎雲

鶯蕪深知泉玉憑風亂儒雅心吾聊懷望
千秋一麗淚蕭蕭餘年代不同時江山
散室空支蓬萊雨而忘夢室夢是故雲
一回

春興賞

武原幽節

城頭寒柝響清越遠音疏鐘微斷歇居人睡熟重門扁起步中庭望明月空階積
雪地痕未何漢無聲清露重對陰沉水半池黑時光盪星滿林梢綠意如蠻走阮程
砌幽蛩吟嗚咽蛩吟後止萬籟空風之宵澄絕涼侵衣袂我欲眠獨孤明月
懸中天曉風蕭瑟動寒蕪倚杖進前一慨呼屋角斜陽喧凍雀枝頭殘雪立飢鳥貪
污成俗國維破瓦柱無人氣孤丘事久經歸袖半年除柳復醉屠蘇風吹近對孤簫
苦深夜誰同伴寐寥一默音還閑凭几靜聽殘雨滴芭蕉

春興賞

鈴木草影

花是心招蝶
無心尋飛鳥
時深來財花
聞吾你不知人
人少知我不
知近席則靜
夜草庵裏泊

成瀨惠苑

春興賞

方宣賞志元書



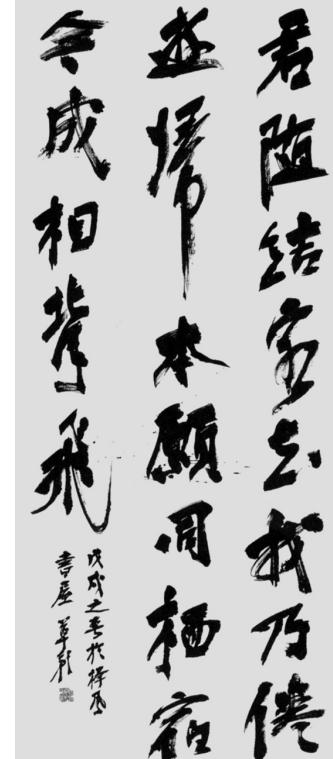
推薦顧問賞

來司信博



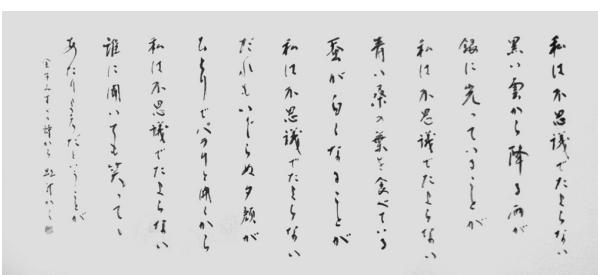
春興賞

中內真意



春興賞

鈴木草影



特選謙慎賞

野口虹汀

特選謙慎賞

荻原梓虹

特選謙慎賞

新井 雄峰

特選謙慎賞

佐藤 尚山

清凡弄水月衡山此人在夜度吳王汎蕪州豎角亦多情送我而
東木齋遠江而又聞生塞曲半雜江聲作悲健誰善萬方聲一
槩蠶情龍愁為余更我記江邊枯柳對來死相逢真誠而
他年一葉汎江來還吹此曲相迎餞 木齋詩雄峰書

特選謙慎賞

緒方 愛節

高鳥有遠群離歎多悲音懿彼婉娘子懷為分此襟朝叢南河隔夕
幕乃北岑玄既無極荒波浩且深君其日海潮無言還舊林季秋凋群
木寒淒澀中軌筋鼓濟方舟軒車匝河漢攀援惜還遠懷尔暉馳晷
采蘭徒情結把蔚為誰美顧子厚本襦霜露自茲始 緒方書

特選謙慎賞

金坂 心快

紫梅發初偏黃鳥歌猶洪誰家折楊女弄春如不及愛
爾若妝生一爲人映花立香畏風欵故衣愁露宿遲玉閨青
門裏日落吉車入游衍益相思含嘆向猿惟憶君長入
夢帰屢見空疑不及紅簾蓋雙樓綠草時心快

特選謙慎賞

小林 比出代

國之亡卒蕭何雖妙算數精枉帝重三十載不聞多愛鑑賞曾獨步南歸
於十四日行需覆全食并飲酒並賜鑑賞傳記余不銳望累辱躬辭謝輕即給詰問其狀
端門矣驚惶仰頭拜主榮都督曰夫余蒙幸得從事於新固方二郎僕令威
昔久嘆畫手自稱數一數笑猶賞覽之間所妙與絕才口余深謝御譽寄全徑桂蘭而歸然歸
矣將間無舍厭其名成前可毒九陰火龍羅體多潤禽樂錄猶猶間苦也奉書請復方蓋誠
命急重父從余新豐食琴琴拂弄未合東歸鑑賞滿三箭曰台陽半圓翁同之從翁會朝
謂余器禮并食杜少烹吾本多金集乞為始物食教深谷當罕呼耶

瀾決望長安河陽視京縣白日冕飛輦
參差各可見餘霞散成綺澄江靜如練
喧鳥覆春洲雜英滿芳甸尚山言

特選謙慎賞

原口 華煌

羌園如夕蒸西郊已碧盡誰言不日賞但乏醉在洞山
高吟過西洞樹落殘花非因臺不待當由闕自賸思憶
至雲閣泊素室中休出處誰緣照明月而知心鳳光山
郡夕來看處隱春殘在稚得客莫同意中人華煌書

特選謙慎賞

牧野 蘭庭

西登香爐峰南見瀑布水挂流三百丈噴壑數十里勢如飛龍電
來陡若白虹起初驚河漢落半灑雲天裏仰觀勢轉狂杜哉造化
功海風吹不斷江月照還空月中龍深射左右洗青壁飛珠散輕
霞流沫拂穹石而我崇名山對之心益開無論漱瓊液還得流
塵顏且詣宿可好永願辭人間李太白詩望廬山瀑布角庭

特選謙慎賞

吉田 麗楓

天馬西極來權奇待殊賞風塵久困蹠櫈下首頤仰但回一顧思輒
奮千里想誰能芳草歇不望王禾長努力事修途落日休慨慷南園
卉植繁中有不秋草涼雨立蕭森嚴霜凜寒皓豈無桃李姿能競豔
陽早盛時先自炫顏色那得老榮華在本根虛心聊自保麗楓書

「第八十回謙慎書道会入賞者発表」(五月号P23の長壽出品章とし20出品者)に誤りがありました。お詫びし訂正いたします。

☆謙慎書道会長壽出品章
(数え歳90歳以上の出品者特別表彰)

横川 景城 高橋 白羊 早川 静節

☆U20出品者

(満17歳以上20歳以下の出品者)

安部ひなた 榎谷 華詠 大川めぐみ
小笠原ひより 門脇 里緒 小暮 千鶴
鈴木里佳子 染谷 紀織 松島 美月

第五十回全国学生書道展 開催時期変更のお知らせ

「全国学生書道展」はこれまで書象六月号で募集規程を発表し、七月下旬に出品受付、書象十月号で審査結果発表、書象誌十一・十二月号で誌上展、翌年の書象展(国立新美術館)で優秀作品を展示していました。今年度から、できるだけリアルタイムでの展示をしたい、幼少期からの文字指導や書写書道教育の一層の振興を図りたいなどの理由から、以下のように日程を変更いたします。

第五十回全国学生書道展

- 出品案内 二〇一八年九月頃
- 作品受付 二〇一九年三月上旬を予定
- 結果発表 二〇一九年六月の書象展の展覧会場およびホームページで発表
- 表彰式 書象展会期中に、上位入賞者を対象に開催予定

詳しい募集規程は、改めて発表いたします。

なお、昨年の第四十九回展の優秀作品については、従来通り今年度の第五十七回書象展においては、展示を行います。ぜひご覧ください。

学生展係

第46回日本の書展 (本会関係出品者)

《東京展》

会期 平成30年6月14日(木)～24日(日)～19日(火)は休館日)
会場 国立新美術館(港区六本木)

○現代書壇代表(巡回)

市澤静山 田中節山 内藤望山

○委嘱

山口啓山

○招待

恩田静月

久保研山

小暮静翠

関香風

樋口玄山

藤岡月華

小山春聲

竹内青紗

松田幼山

宮本耕成

柳澤玄嶽

末永暁華

渋江皎雲

田中珠光

吉田谿沙

宿谷硯心

齊藤盈月

平川華凜

中井陽理

布施杠華

根津浩美

小島秀山

長屋佳影

吉田谿沙

永田真佑美

根津浩美

小島薰藍

中内真意

柳澤雪葉

田中紫光

宮本耕成

柳澤玄嶽

末永暁華

渋江皎雲

田中珠光

吉田谿沙

宿谷硯心

齊藤盈月

平川華凜

布施杠華

根津浩美

○秀抜 青柳緑水 有馬花嵐 安藤藤嶽 石原壽月 江上玄光 小泉薰藍

小西月

小室墨汀 坂本梗月 鈴木亞沙 石原壽月 江上玄光 小泉薰藍

那須彩禾 南條素琴 鈴木蒼舟 坂本梗月 鈴木亞沙 石原壽月

飯田天澄 橋本桂雪 鈴木蒼舟 坂本梗月 鈴木亞沙 石原壽月

菅原小霞 遠峰美和子 橋本桂雪 横田伯翠 鈴木亞沙 石原壽月

中久木陽映 長田詠李 佐野直美 熊坂敏彦 鈴木亞沙 石原壽月

三沢泰仙 森 晨英 藤澤劍山 竹内紅雪 渡辺琥山 小島薰藍

○公募臨書入選者

（前期）6月14日（木）～18日（月）

上田えい子 清水いつみ 佐野直美 熊坂敏彦

（後期）6月20日（水）～24日（日）

遠峰美和子 中村秀華 石原壽月 江上玄光 小泉薰藍

飯田天澄 関澤劍山 竹内紅雪 渡辺琥山 小島薰藍

菅原小霞 中堤春里 藤澤劍山 竹内紅雪 渡辺琥山 小島薰藍

○秀抜選 藤澤珠玉 出来華泉 中邑弦照 松井小漱 山田白葉 水谷真理

酒井溪月

山田白葉

○秀抜選 藤澤珠玉 出来華泉 中邑弦照 松井小漱 山田白葉 水谷真理

酒井溪月

山田白葉

○招待 日比野汀華 長谷川石心 今井翔山 鈴木香扇 水谷真理

長谷川石心

今井翔山

鈴木香扇

《関西展》
会期 平成30年5月3日(木・祝)～5日(土・祝)
会場 マイドームおおさか(一・二階展示ホール)

○招待

藤澤珠玉

秀抜選

酒井溪月

出来華泉

中邑弦照

松井小漱

山田白葉

《中部展》
会期 平成30年5月23日(水)～27日(日)
会場 名古屋市博物館(3階ギャラリー)

○招待 日比野汀華

桂川聰花

第五十七回 書象展受賞者

中長中田近工上今 村田川口藤藤條井 秀詠汀雅靜和哲翔 華李松華志春山山	<small>《獎勵賞》</small> <small>十二名</small>	波野高関宿早小桑來北伊 多野口平澤谷女林島司井藤 晴虹光劍硯墨貞秀信珠西 嶽汀紗山心光月雪博虹光	<small>《櫻花賞》</small> <small>十一名</small>
--	--	---	--

<small>《特選》</small> <small>四十一名</small>	吉藤広野高鈴澤齊木門大稻有 田原松中橋木 藤内脇村葉賀 麗鐘蘭映淡杏娥彩理華玻京蒼 枫雪節芳愁靜舟節映杏玉春玄	<small>《書象賞》</small> <small>十三名</small>	吉山藤平 田下井川 煌木憬華 扇華花凜
--	--	--	------------------------------

坪田田田竹武高諷鈴佐小安
 井中中幸野次橋訪木孝永
 名満紗智翠壺詠珀蘭美泰
 扇珠虹峰紗晶草舟光子象工
 市池池飯安荒新淺
 川谷野田藤木井見
 壮碧愛天泰佳谿康
 一峰麗幸松扇祥絹

<small>《秀作》</small> <small>二三九名</small>	小古煙倉熊北岸木川加加角内今石 森島賀山谷坂原内保岡藤崎村井井 大華晨紫聴吳光葉洞麗江征泰静希菁 象工凌雪瑛月碩水草舟爽風光帛琳紅峰
--	---

神神鎌金金加加片影加小岡岡笠
 山谷田子子藤藤岡山美野部田原山田島澤川石井藤田川井井
 禮董心葉沙嶺歌珠天節蕉葵凰ひ妍荷
 光節花蕉泉心月松性真苑葉吟り龍玉健節子

鈴杉菅白庄周下清波佐佐箇坂斎小小小小小小栗菊川
 木山原倉司藤平水谷野藤森川口藤山松林林林林西池原地本
 華光節貞朴文成麗濤紅江光靜節華勇白凌訪天水華禎峰由惠敦
 優穂子竹山界苑艸阜流蕙蘭章苑駿峯帝翠泉苑煌蓉子弦子爽子

中中中永中鳥虎戸東坪土土辻田田田伊伊多高高高染曾鱸
 村村原田沢山本田郷内屋屋 村村中中達達田橋橋城谷根
 有春宏桃嶺寿溪旭君廣蓮寶霧光久穂華潮知安麗壺珪優圭愛桃
 希桃惠林花敬風蓉子峯舟春紗帆美暉慧虹節乃湖登芳節苑皓娟

百望務溝水三間松牧本星古深廣平平姫半林林花長橋新西西
 瀬月台口野浦宮島田間野屋川本山田野岡川本田谷
 涼清泰道経徑花美愛双華葉苑祥千黎千知晶佳豪美蕙明風照錦
 香実煌幸霜石穗月鈴葉逕明心己絵湖節子光蓮峰静翠秀聲靜節

井伊石石井池有荒荒荒安浅赤相
戶原藤橋田沢田馬木川井井達木井木
清華安歌梢晶萌京芳遙曉葉惠美
光彩夫節琴影禾桜桐霞優峰艸子繪

渡渡渡横湯山山山山山森森
辺部辺山坂田田下崎口永井
桃花惠京閑裕霽桂奏幸紀寿京
幸天美節雲靜香耀繪靜光雅琴

《褒一四狀一名》

北川川川川刈金金門加加鹿小小小奧小大大大大及遠榎梅氏上上岩井
原堀川田西島上間山森澤脇藤島野沼沢原川山前橋高熊川藤谷原原原原田上
智名桂晶星優靜見章節里桑芝天和宗通柊葦沙琇節夢千翠晨華華梅白章澄美佐
祥紗那月峰華映紹浩雨緒軒華虹溪心明花仙麗峯舟宵秋花翠詠聖惠麗敬葉子

島鳴島重塩三佐佐佐佐坂坂齊齊是小小小後兒小小小黑熊久保工木城
田田田盛谷杉藤藤藤間口井藤藤藤常山林林藤玉嶋暮池池崎野園保藤村戸
夕悠桃耀翠千玲望祥梗敏千錦泰菖雅麗雲晴真灯泰静千節高李珠紅雅友渚
節子紅岳桐代窓春苑紗子春風城月虹陽性香志宵壽幸鶴麗風心天川真泉子月

長永豊豊續筒玉田館田竹武竹瀧高高高高高高高征園瀬閑閑須鈴鈴杉新下
江井田島橋井井中野澤政田内口橋橋橋田杉木木野山野根根田木木木山谷村
白靖大月華江麻麗鳳小紅節多加里穗桜花優晨珠碧莊鶴祥虔美良湖桜燁冬沙
羽子慶性穗惠子竹節瑛敬峰子代節波嵐庭実秀麗空心汀節山子龍堂節光雅桜

前前本古藤藤藤藤平平原原林早早濱花初長橋野根根西西西中長中
田島間多河原本本音山林林坂川田形津川爪司司津津澤崎川垣谷田島
名梗李千松翠典靜圭美泰桂露春泰美靜綠濤壺翠桃陽快益浩美未濤光友汀萩
琴翠葉子賀菜邑楓川朋舟空秋子晴吟紅節風山博玉芳子風之美香央花風節珠泉

吉吉吉吉吉橫湯大山山山森森百茂村村宗宮宮宮峯南水三三三丸町樹
村見野田澤山淺和下崎口口井瀬木本上形澤崎枝入村方野神浦浦山田
珠汀湖美靜沙葉玄優憮智綵京霽真壽篁奈峰麗朝晨華杜伊清泰五久玄欽玉光
久茜葉山鶴春苑庵姬泉洲華仙華花香心穗春吟花光凰心子玄恭福子記造香硯

東濱橋橋野中鳥寺長竹武瀧染染清笛小北蒲加片柏荻大植池生安麻和若六
田本爪中溝居澤南下居瀬谷谷水森菅川原藤山崎野川草田野部生田山井川
瑞珠紫里映映真春玉惠典響桃紀美咲裕有美汀邀と明め光和智ひ礼華穏伸昌
子羽芳和笙祥理清袖子子山雨織鐘依美美子紅月枝笛み苑子子た子葉空珠幸

三堀福平仁中中須清後久金落尾岩渡横山山柳森宮三松前堀平菱
藤里山平本島藤水藤田森合崎井邊田田田澤下村田山内田沼
久葵眉加賀裕真理八珠麗涅早光保惠真さ夢清桜明司碧ち
美子翠月子子子美花代颯香里苗美歌子陽菜き苑石蘭成峰瑤子
有美登江

7 持参品 書道用具一式、毛氈の下に敷く広めのビニールまたは古新聞紙、その他各自必要なもの。なお会期中に「玉蘭堂」「鶩毛堂」の書道用品業者出張販売を予定しております。また、お薬を服用されている方は忘れずご持参下さい。係でも軽症状の薬を用意しています。

8 参加申込 6月29日(金)までに同封の「払込取扱票」にて費用をお振込みください。
なお不明な点は書象会本部 ☎0422-53-9743 へお問い合わせください。

9 日 程

【8月5日(日)】 13:00~14:00 受付、着替えをすませ用具を持参の上、開会式会場へ集合。

14:00~14:30 開会式 1階大広間「飛翔」

14:30~17:30 鍊成

18:00~19:00 夕食 1階「花吹雪」

20:00~23:00 任意鍊成

【8月6日(月)】 6:30~ 起床

7:00~8:00 朝食 2階「パレルージュ」

8:00~11:00 鍊成 1階大広間「飛翔」

11:00~12:20 片付、着替え

12:20~13:00 作品鑑賞会、閉会式

13:00 解散

10 交 通 ●電車で • 上野 $\xrightarrow[\text{153分}]{\text{特急「草津}} \text{長野原草津口} \xrightarrow[\text{25分}]{\text{JRバス}} \text{草津温泉ターミナル}$

• 東京 $\xrightarrow[\text{70分}]{\text{長野新幹線}} \text{軽井沢} \xrightarrow[\text{90分}]{\text{草津バス・西武高原バス}} \text{草津温泉ターミナル}$

●バスで • 新宿駅新南口 $\xrightarrow[\text{250分}]{\text{JRバス関東 上州ゆめぐり号}} \text{草津温泉ターミナル}$

●車で • 練馬 I C $\xrightarrow[\text{103km}]{\text{関越道}} \text{渋川伊香保 I C} \xrightarrow[\text{60km}]{\text{一般道}} \text{ホテル}$

11 前泊取扱 遠方から参加される方のために前泊が可能です。ただし、書象会では取り扱いませんので、利用者が直接ホテルに申し込んでください。また、前泊分の宿泊代の清算も直接行ってください。合宿経費と混同なさらないようお願いします。

12 草津元白根山の火山情報について

草津元白根山から草津温泉街までは5キロ余り離れており、直接の影響はなく、現在もホテルや温泉街ともに平常通り営業しているようです。ホテルの担当者からは、噴火に関する情報が役場からホテルにあった場合はすぐに宿泊者、書象会の皆さんに館内放送で、避難場所や避難経路についてのアナウンスをして対応してくれる、とのことでした。

平成30年度 書象会夏季合宿鍊成会のご案内

書象会研修部長 柳澤玄嶽

今夏、書象会の夏合宿を3年ぶりに草津温泉の『ホテル櫻井』で開催いたします。2泊3日が恒例の夏合宿ですが、お盆前の忙しい時期ということもあります。今年度は1泊2日の日程で企画させていただきます。館内に広々とした鍊成会場を提供していただけるので、1人ひとりがゆったりとしたスペースで書技術向上に励むことができます。限られた時間の中で内容の充実した楽しい合宿をめざし企画いたしましたので、大きな期待を持ってご参加下さい。合宿解散後は、草津温泉の見どころでもある湯畠周辺を散策することもできます。書友お誘い合わせの上、是非ご参加下さいますようご案内いたします。

記

- 1 期 日 平成30年8月5日（日）～6日（月） 1泊2日
- 2 会 場 草津温泉『ホテル櫻井』
〒377-1711 群馬県吾妻郡草津町465-4 TEL 0279-88-3211
今回の鍊成もホテル内で行います。
鍊成用具等を「宅急便」でホテルへ送付される方は4日着の「期日指定」とし、宛名（ご自身の氏名）の上に「書象会」と記入してください。
- 3 定 員 200名
1泊2日の為、通い鍊成はありません。
申し込み期日内でも定員になり次第締め切れますので早めにお申し込みください。
- 4 費 用 27,000円
ホテル宿泊費、鍊成会場使用料、指導料、運営費などを含みます。
ただし、手本代は含みません。
- 5 指 導 者 書象会の幹部の先生方が小グループ別に懇切丁寧に指導にあたりますので、初めて参加される方も全く心配されることはありません。且つ、十分な成果を得ることができます。
- 6 部 門 「書象誌半紙課題」…半紙 「書象誌」の楷書・行書・仮名課題の鍊成。
「信山流条幅」…半切 「書象誌」の漢字条幅・隸書条幅・仮名随意課題の鍊成。
※以上2グループについては書象誌7月号と8月号を持参してください。
「書 象 展」…全紙1/3・半切など。様々な書体でご自身に合った効果的な作品作りを学びます。初めて展覧会に出品する方には最適です。
「謙 慎 展 A」…謙慎展評議員・一般公募出品サイズ。本格的な条幅作品の作り方を学ぶ基礎鍊成。調和体・仮名を含みます。
※以上2グループについては本部で手本を用意します。
「謙 慎 展 B」…謙慎展理事・評議員・その他の書展出品のための鍊成。
「日 展」…日展出品者のための鍊成。
※以上2グループの手本については各自でご用意ください。
※参加申込書には謙慎展の場合AかBの回答もご記入ください。
*日展出品者は、最初に添削指導をしていただきますので、作品をお持ちください。

書象会通信条幅研究会課題の解説（平成三十年五月～七月まで）

信山流



大小長短の変化をつけながらも、各文字の中心が垂直に貫通するよう心がけます。墨継ぎは、筆の大きさや紙質によっても変わってきますが、一つの目安として、「清」に十分な含量を見せ「風」「入」までは一気に、「簾」で軽く墨を継ぐよう気持にすれば自然な流れとなりましょう。

清||サンズイは隸書的な筆法。風・入・来||大きな腕の動き、軽快な運筆を意識します。簾||兼の形は図を参照。

隸書

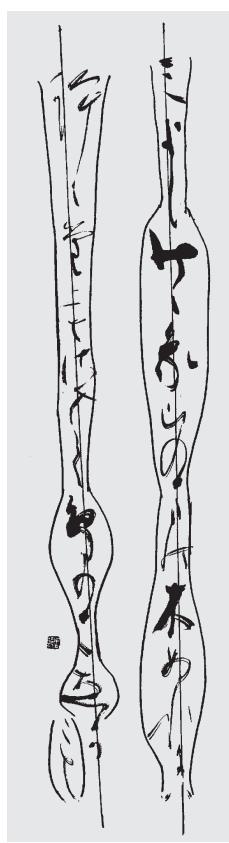


仮名

・横画の統一、字幅の統一に留意し、ハライ（波磔）は、のびのびと書きましょう。

・墨の滲みでわかりにくい部分は、横に記しましたので参考にして下さい。

「倚」↓奇 「樹」↓木へんを上へもっていき
「聽」↓月



今回の課題は、字形の太細・粗密・墨色の潤渴など、各行を満遍なく呼応させ、まとめていきましょう。各行とも右下への行だてを意識し、最終文字「も(毛)」で全体のバランスを取っています。

- ・一行目 「み(三)」と「木」で含墨し、墨色に変化を付けます。「の(能)」の(ノ)「象山」と「木ぬれ」はやや大きくし表現します。
- ・二行目 「こ(許)」こ(ノ)…「ぐ」は渴筆を効かせ伸びやかに運筆し、「鳥」で少々含墨し最後を締めます。

第57回 書象展 会期中行事日程表

6月14日（木）午前10時	開展
6月15日（金）午後1時	ギャラリートーク 山口啓山先生
6月16日（土）午後2時	ギャラリートーク 杉山暁雲先生
6月17日（日）午前10時30分	第49回全国学生書道展講評会（学生展展示室）
午前11時	子供のためのワークショップ（三階研修室）
午後1時	支部長講習会（三階研修室）
午後4時30分	五人展インタビュー
6月18日（月）午後2時	ギャラリートーク 中村巍山先生
6月19日（火）休館日	
6月20日（水）午後1時	実技講習会（三階研修室）
6月21日（木）午後2時	ギャラリートーク 樋口玄山先生
6月22日（金）午後2時	ギャラリートーク 虎井暁鍾先生
6月23日（土）午後2時	ギャラリートーク 二瓶嶽風先生
6月24日（日）午前10時30分	読壳書法展添削会（三階講堂）
午前11時	第49回全国学生書道展講評会（学生展展示室）
午後4時30分	表彰式（第1室）
午後6時	閉展

特待生紹介

（学年は試験合格時のものです。）

感謝

芙蓉第五支部 中二



私は、二度目の特待生になることができました。中学生になつてだんだんといそがしくなり、休んでしまうことが多かつたけれど、合格できてよかったです。いろいろとたくさんの経験をありがとうございました。
支部長先生より一言 二冠達成おめでとうございます。
今まで部活動と勉強と良く頑張りました。高校受験もがんばってね。

道



土筆支部 中三
伊藤里菜

特待生への道は、長く険しいものだった。地道に、少しずつ少しずつ、その道を進んだ。なかなか段が上がりづら誇め、そうになつたこともあった。それでも辿り着けたのは、宮寺先生のおかげだと思う。ありがとうございます。
支部長先生より一言 硬筆合格おめでとう。集中する時は、すごい力を発揮します。この経験を今後に生かして下さい。

目標に向かって！



中野支部 中三
小林彩花

ずっと夢だった特待生になることができて、とても嬉しいです。いつも分かりやすく丁寧に教えて下さった先生には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。これからも目標に向かってがんばります。
支部長先生より一言 もうおめでとう彩花ちゃん。入会するのがちょっと遅かったけどよかったです。御両親にも感謝します。

特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)

目標達成



珠悠支部 中一

川久保 陽菜

私は幼稚園の頃から書道を習い始めました。中学生になりました。本当にうれしいです。いつも一生懸命に指導してくれた先生に感謝です。ありがとうございました。
支部長先生より一言 今年で十年目になります。陸上の部活で疲れている時も集中力を切らさずよく頑張りました。おめでとう!

二冠達成



北府支部 中二
中谷理紗

硬筆は小学校一年から書道を始めた。長年の努力を積み重ねて獲得した特待生への喜びはとても大きく感じています。今回もらった盾は私の努力の結晶として大切にしたいです。先生、ありがとうございました。

支部長先生より一言 集中力があり常に学ぶ姿勢をわすれない関上君。今後もさらに上を目指して下さい。本当におめでとう!!

努力と感謝



高社支部 中三
佐藤涼

私は小学校三年生から書道を始めました。今回、一つの目標であった硬筆の特待生になれとても嬉しいです。ここまで上達させてくれた先生には、感謝の気持ちでいっぱいです。これまで努力してきて本当によかったです。応援よろしくお願ひします。

支部長先生より一言 目標の二冠達成本当におめでとう!! 部活の帰りに遅くなても弱音を吐かず、頑張った成果ですね。

不斷の努力



大田支部 中一
鈴木理仁

僕は幼稚園から書道を始めました。サッカーや塾であまり時間がとれない中で、頑張つて続けてきました。得意な硬筆で先に特待生になれよかったです。これから毛筆でも試験を受けられるよう頑張つていきたいです。

支部長先生より一言 部活や学校行事と両立して、よく頑張りましたね。これからも文字に親しみ続けていきましょう。

これからも



光ヶ丘支部 中一
千葉月美

書道を始めて七年。“特待生”という大きな目標を達成することができました。横浜の向先生、光ヶ丘の橋本先生、そして書道を続けてくれた両親に感謝しています。更なる高みを目指して書き続けたいと思っています。

支部長先生より一言 月美さん!! 毛筆・硬筆ダブル合格!! おめでとうございます。これからも楽しく書き続けましょうね。

目標



高社支部 中二
青柳佑奈

前回では、毛筆の方で特待生になれ、今回は硬筆で特待生になれることができます。ようやく目標であつた特待生になれとても嬉しいです。ここまでこれたのは指導してくださった先生のおかげです。

支部長先生より一言 日頃の努力が二冠に繋がりましたね。真剣に取り組む姿も作品も大変良く、今後も活躍が楽しみです。



正桂支部 中二
関上立

私は小学校一年から書道を始め、長年の努力を積み重ねて獲得した特待生への喜びはとても大きく感じています。今回もらった盾は私の努力の結晶として大切にしたいです。先生、ありがとうございました。

支部長先生より一言 集中力があり常に学ぶ姿勢をわすれない関上君。今後もさらに上を目指して下さい。本当におめでとう!!

もっと学びたい



神奈川支部 中一
小川冴京

小学一年生で書道を始めてからの目標は、この特待生でした。まさか中一で特待生になれるとは思わず、驚きました。しかし、今でも筆使いに関して新しく学ぶことがあるので、初心を忘れないで学び続けていたいです。

支部長先生より一言 お稽古に真摯に向き合い探究心も旺盛、皆の憧れ目標です。合格おめでとう。不断の努力の賜物ですね。

達成感



名東支部 中一
雪本彩乃

小学一年生から習字を始めて、今回特待生になることができてとても嬉しいです。また小学生の頃からの目標だったのですが達成感もあります。丁寧にご指導してくれた松村先生、ありがとうございました。

支部長先生より一言 春には海外に引越しの彩乃ちゃん。合格おめでとう。間に合って良かった!! いつも真剣でしたね。

特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)

特待生になつて



電墨支部 中一
中村 莉子

中学生になってから、部活があり習字に来ることが減っていました。なので、一回一回の練習を大切にしました。特待生になつても、気をゆるめずに、集中して字を書いていきたいと思います。

支部長先生より一言 半紙に大きくしっかりと筆づかいで書いています。何事もつみかさねが大事ですね。おめでとう。

さらなる目標へ



皓花支部 中一
芽依ちゃん

六年間習字を習い続けて、目標だった特待生になることができました。なれたのはご指導してくださった先生のおかけです。これからは二冠を目指してがんばりたいです。

支部長先生より一言 芽依ちゃん合格おめでとう。削削後に、納得いくまで書き込む姿勢は皆の手本です。添次は硬筆、頑張ろうね。

夢が実現



若竹支部 中二
戸谷涼花

私は書道を始めたのは小学三年生の時でした。みんなより始めるのが少し遅かったので正直、特待生になるのは厳しいと思っていました。試験合格を聞いた時はとても嬉しかったし、先生には感謝したいです。

支部長先生より一言 真面目で真剣な勉強態度は教室の模範です。学校ではバスケットボールの選手。文武両道ですね。

目標



有穂支部 中三
宮原綾美

小学生の時から目標にしていた二冠達成をすることができたとても嬉しいです。中学生になってからお稽古に行く時間が少くなりました。が、先生が熱心に教えて下さったおかげです。ありがとうございました。

支部長先生より一言 中学になって時間がとれず辞めたいと言っていた綾美さん。忙しい中、良く頑張りましたね。皆の手本になりました。

将来きっと



内藤支部 中三
古屋 勇斗

小学生の頃から書道を習い中学三年生になりやっと特待生になる事が出来ました。勉強や生徒会、部活との両立は大変でしたが、上手くなつていく事を嬉しく感じたし将来役立つ時が来ると思うので頑張ってきてよかったです。

支部長先生より一言 特待生合格おめでとう。特に中学生になってからの努力が素晴らしいよ。忙しい中よく頑張ったね。

やつとつかんだ特待生



湊支部 中一
春日 莉緒

八年間、教室に通つてつかめた特待生。特待生合格の知らせを聴いたときは、教室の先生に感謝の気持ちでいっぱいでした。ここまでやれてこれたのも、特待生になれたのも先生方のおかけです。ありがとうございました。

支部長先生より一言 合格おめでとう!! 集中して稽古に取り組んだ努力の賜物です。この経験をバネに更に精進して下さい。

特待生合格



皓花支部 中二
中村 莉子

習字を始めて約六年。特待生になることができて、本当に嬉しいです。一回で合格できたのは、的確なアドバイスをしてくださった先生のおかげです。次は硬筆での特待生を目指します。

支部長先生より一言 最近の上達ぶりには目を見張るものがあり、特待生合格優秀作品に選ばれました。莉子ちゃん、やつたね!!

努力の結晶



若竹支部 中二
小林 楓

私は、年長の時から書道を始め、特待生になることができてとても嬉しいです。熱心にご指導下さった先生に感謝です。今では小さい頃から続けて良かったと改めて思います。次は硬筆。二冠達成を目指して頑張ります!

支部長先生より一言 吹奏楽部で活躍しながら、休むことなく通いました。これからもその気持を忘れずによく頑張って下さい。

二冠達成!



珠悠支部 中三
八木彩圭

私は小学生のころから特待生になりたいなと思つていました。練習をがんばつてついに毛筆も硬筆も特待生になることができました。本当にうれしいです!今までありがとうございました。

支部長先生より一言 二冠達成おめでとう! 気持ちを強く持ち、何事にも粘り強く頑張って下さいね。応援しています。

今月の優秀作品



△漢字条幅△ 評 寺尾 碩雲

中田秀麗 格調高く、ハイセンスな作品である。

伊藤鐘嶽 逆筆を利用させ骨力のある線で貫通した。

垣内孝子 正しい用筆で、誠実に仕上げた佳作。

高平光紗 墨量豊かな作品。安心して見られる。

伊藤暁道 字形を潰さずに、爽やかに仕上げた。

平野壺桜 鋭い筆致で、明るく軽快に書き上げた。

長江陶華 ゆったりとした作品。字形もよい。

渋谷逕月 逆筆を正確に使い、伸びに柔軟さがある。

△条幅随意△ 評 荻原 光山

松尾小楓 ふくよかな線質で、落ち着いた秀作。

吉田谿沙 墨の色と潤滑がマッチして、美しい佳作。

珠 悠 濃墨が生きて、強さの中に柔軟さあり。

△通信条幅△ 評 樋口 玄山

柳澤雪葉 骨太の線で堂々たる作品となつた。

齊藤泰城 伸びのある波磔で筆勢があり、隸意豊か。潤滑の変化が明確でインパクトあり。

基本課題

評 西野 江月

大形涼華 用筆・運筆見事で力強く紙面を満たす。

加藤穆舟 墨量十分で、伸びと豊かさを感じる。大佳。

古河松菜 隸意十分で、自由闊達な用筆が生きる。

小林真志 穏やかに伸びた線、格調高くできた。

研究課題

評 杉山 晓雲

塚原花瑠 線を長く見せる構造の妙を得て大佳。

松岡秀香 線と文字に深みを与える筆法を得た。

前山景草 腕が大きく動いてリズムが美しい佳作。

宍戸隼山 罫線の工夫がきいて雅味が出て楽しい。

古典課題

評 寺尾 碩雲

須江京月 軽妙な筆致。線質、字形も素晴らしい。

金子夕紅 忠実な臨書作品。クオリティが高い。

林田翠山 率意的な趣きが印象的。字形もよい。

荻原梓虹 小綺麗にセンスよくまとめ上げた佳作。

師範部

△行 書▽

評 柳澤 玄嶽

新井雄峰 洗練された行書の風格と氣力躍動共に佳。

中内真意 鍊度の高い明快な運筆が印象的な秀作。

加藤静花 フィーバード感があり大胆な動きがみられる。

川田 麗 柔軟な線質で、流麗な流れを表現した。

佐藤茜沙 柔軟な線質で、流麗な流れを表現した。

川久保麗爽 字間の響き良し、余白美を生かした作。

日下部耕山 肉太の線で統一し、豊かな雰囲気が漂う。

石沢秀庭 無理のない運筆で穏やかな仕上がりの作。

高
苗少二

不黒色

黒空:

不黒色

大庭
羅寧

黒空:

庭而皎夢照東域而流慈昔分形分蹟之時言未馳而成

京月路

黄河遠上白雲間一幷孤城萬仞山羌笛何須怨楊柳春光不度玉門關

王之涣詩
花語園

弄馨雪

涼平

文化
師
範奥

不黒色

黒空:

不黒色

大庭
師
真意

黒空:

昔者分形分蹟之時言未馳而成化當

大庭
王之涣詩
答寺書

黄河遠上白雲間一幷孤城萬仞山羌笛何須怨楊柳春光不度玉門關

王之涣詩
答寺書

弄馨雪

松葉

美村
師
日下部耕山

不黒色

黒空:

不黒色

郭花

黒空:

皎夢照東域而流慈昔者分形分蹟之時

原著聖教序
墨の旅

黄河遠上白雲間一幷孤城萬仞山羌笛何須怨楊柳春光不度玉門關

王之涣詩
墨の旅

弄馨雪

松葉

杉
師
日下部耕山

不黒色

黒空:

不黒色

川田
墨の旅

黒空:

者分形分蹟之時言未馳而成化當

原著聖教序
墨の旅

黄河遠上白雲間一幷孤城萬仞山羌笛何須怨楊柳春光不度玉門關

王之涣詩
墨の旅

弄馨雪

墨の旅

					黒空<small>くろぞら</small>	不黒色<small>ふくろくしき</small>
					黒空<small>くろぞら</small>	不黒色<small>ふくろくしき</small>
					黒空<small>くろぞら</small>	不黒色<small>ふくろくしき</small>
					黒空<small>くろぞら</small>	不黒色<small>ふくろくしき</small>
					黒空<small>くろぞら</small>	不黒色<small>ふくろくしき</small>

山本汐香 抑揚の変化に富む豊かな表現。センス抜群。

大村玻玉 写実に徹した臨書。眞面目な姿勢を見る。

田口雅華 潤いのある豊かな線、正しい形把握も佳。柳沼秀光 自在な筆遣いで鋒先が効きリズム感有り。

山田白葉 明るく軽快な運筆、形の正確さ見事。

高木泰慶 直線的で力強さがあり、貫通力ある作。井上雅幸 正確、安定した筆遣い。静澄深淵な作。

鈴木千靜 渗みを効かせ、直線的で重厚に仕上げた。

仲島秀峰 筆先が効いて冴えた線が美しい。
山下木華 行間が引き締まり余白美がきわだつ。
田島透仙 運筆に余裕があり優美な佳作。

△仮名▽

評 藤岡 月華

多田美智子 墨量の微妙な変化が繊細に表現できた。
三河茫苑 腕を大きく動かし明るい運筆が冴える。
北村照節 曲線の機微をしっかりと把えて美しい。
中邑弦照 濃墨をゆったり運んで正確な造型美。
桑野小説 染紙に滲みを加えた瑞々しい秀作。
宮沢晃静 行立てが正しく、おおらかに書けた。
斉藤泰城 文字の大きさをしっかり把握している。
橋本恵翠 たてに伸びやかさを表現して気持よい。
渋谷政行 行間のからみ、勇気をもって挑んでいる。

学 生 部

評 白瀬 静苑

新しい
目標

千曲中三
らら

新しい
目標

久喜中二
石井堇花

新しい
目標

有象
今村遼子

計画
実行

沖一
真歩

計画
実行

伊奈
七和奏

計画
実行

中大八上
柿崎

小鳥
の声

六年
佐生結衣

小鳥
の声

小六
麻央

花里
く花さ

小五
関口晴音

花里
く花さ

五年
小山
優芽

草色
かわわ

小四
丸山ねね

草色
かわわ

小六
山下虹羽

計量
言葉

中三
鈴木麻理奈

豆

四年
大印宗介

土

小二
木林田
はる人

ぼりの
木

小三
池谷のなき

ぼりの
木

小三
吉川のこ

うきく
さく

小二
こうむらばん

ら
さく

上木
明日香

半紙隨意

評 恩田 静月

麻理奈 行書の基本が出来ています。今後も期待。
莉理子 むずかしい字を堂々と書き上げました。
大印宗介 正しい筆使いで形良く書いています。
森田陽人 うですが、しっかり動いています。

このページに掲載された人には書象会より記念の
筆をさし上げます。

関野らら 一点一画しつかり書け、しかるものびやか。
柿崎 線の流れが美しく、集中力も見事です。

今村遼子 紙面いっぱい落着いた作品です。

柿崎美空 線の強さが目立ち、力強さがでています。

味本真歩 紙面が大きく動いていて見事な作品です。

佐生結衣 腕が大きく動いていて見事な作品です。

鶴原麻央 声が聞こえるような明るい紙面は立派。

関口晴音 なかなかていねいに仕上げましたよ。

小山優芽 形よく太い線でしつかりまとまっている。

丸山ねね ていいにのびのびしつかりかけましたね。

山下虹羽 力いっぱいいまじめに書けました。

池谷宣輝 一生懸命まじめに仕上げました。

吉川のこ 豊かな線でのびやかに書いています。

内村 純 太い線でいきいきした作品になりました。
上木明日香 のびやかな線で美しい花をさせました。

黒空 <small>くろそら</small>	黒空 <small>くろそら</small>	黒空 <small>くろそら</small>	黒空 <small>くろそら</small>	黒空 <small>くろそら</small>
不黒色 <small>ふくろくしき</small>	不黒色 <small>ふくろくしき</small>	不黒色 <small>ふくろくしき</small>	不黒色 <small>ふくろくしき</small>	不黒色 <small>ふくろくしき</small>
有裏 <small>あり</small> 三級 <small>さんき</small> 直子 <small>なおこ</small>	八瀬 <small>はせ</small> 初段 <small>しょだん</small> 小林陽子 <small>こばやし ようこ</small>	高風 <small>たかふう</small> 一級 <small>いっけい</small> 清水弘美 <small>しみず こうみ</small>	余吉 <small>よきち</small> 準五段 <small>じゅんごだん</small> 続旺 <small>つづく</small>	伊奈 <small>いな</small> 五段 <small>ごだん</small> 林加裕子 <small>はやこ</small>
舍利 <small>しゃり</small>	舍利 <small>しゃり</small>	舍利 <small>しゃり</small>	舍利 <small>しゃり</small>	舍利 <small>しゃり</small>
玄賀 <small>げんが</small> 一とちりぬ をわかよ	神龍 <small>しんりゆう</small> 五段 <small>ごだん</small> 公子 <small>こじょ</small>	四谷 <small>よのたに</small> 特二 <small>とくに</small> 高杉優実 <small>たかすぎ ゆうじつ</small>	聖一報 <small>せいいつぽう</small> 源三 <small>げんさん</small> 美明 <small>みめい</small>	高風 <small>たかふう</small> 準五段 <small>じゅんごだん</small> 誠子 <small>まこと</small>
いろはには 一とちりぬ をわかよ	いろはには 一とちりぬ	いろはには 一とちりぬ	いろはには 一とちりぬ	いろはには 一とちりぬ
修雪 <small>しゆせつ</small> 伏田武美 <small>ふしだ ぶもし</small>	杉六級 <small>すぎろくき</small> 石川友美 <small>いしかわ ゆうみ</small>	練馬特一能谷利恵子 <small>ねりま とくいち めいこ りえこ</small>	小平鑑華 <small>こだいら かく</small>	笠原四段 <small>かさはら やくだん</small> 中原宗志 <small>ちばはら そうし</small>
舍利 <small>しゃり</small>	舍利 <small>しゃり</small>	舍利 <small>しゃり</small>	舍利 <small>しゃり</small>	舍利 <small>しゃり</small>
文化七級 <small>ぶんかしちき</small> 久美子 <small>くみこ</small>	潤墨 <small>じゅんぼく</small> 一段 <small>いまだん</small> 悠子 <small>ゆうこ</small>	杉圓藤和子 <small>すぎ えんとう かずこ</small>	奉雪 <small>ほうせつ</small> 四段 <small>よだん</small> 幸林 <small>こうりん</small>	行書 <small>ぎょうしょ</small>
いろはには 一とちりぬ をわかよ	いろはには 一とちりぬ	いろはには 一とちりぬ	いろはには 一とちりぬ	いろはには 一とちりぬ
八倚高玄 <small>はぢたかげん</small> 潮雲社耀 <small>しおくもんしゃよう</small> 位 <small>い</small>	級 <small>き</small> 杉小須檜水若高花象 <small>すぎこすひすいわかこうかぞう</small> 光坂森代象 <small>ひかり坂もりだいぞう</small>	段 <small>だん</small> 假名 <small>かな</small> 象化 <small>ぞうか</small> 龍風象 <small>りゆうふうぞう</small>	大文杉神高有游練馬谷 <small>だいもんすぎじんこうゆうりゅうねんまや</small> 静游練馬谷 <small>じゆうりゅうねんまや</small>	行 <small>ぎょう</small> 段 <small>だん</small> 伊大原風象 <small>いだいはらふうぞう</small> 奈雪 <small>なせつ</small> 笠原風象 <small>かさはらふうぞう</small> 奈 <small>な</small>
齊伏深下枝 <small>さいふくしんげき</small> 田海枝 <small>たかいじ</small>	圓中青木 <small>えんちゅうせいき</small> 藤島 <small>とうとう</small>	本間吉岡相原由 <small>ほんまん よしおか あいはら ゆ</small>	高杉高橋蒲原美 <small>たかすぎ たかはし はらわら み</small> 谷利 <small>やうり</small>	書 <small>しょ</small> 位 <small>い</small> 遠山林合 <small>えんさんりんごう</small> 小落圓 <small>こらくえん</small> 岸宮野下 <small>がんぐうのした</small>
実武美峯子 <small>じつぶ みねこ</small> 里美優子 <small>さとみ ゆうこ</small>	和真子 <small>わまこ</small> 美薰雲子 <small>みくわん うんこ</small>	美友広美 <small>みゆう ひろみ</small> 弘直智悠惠 <small>こうぢ ちゆ けい</small>	葵子美子 <small>あおこ みこ</small> 美子美子 <small>みこ みこ</small> 美子美子 <small>みこ みこ</small> 子子子子 <small>ここここ</small>	かおる 月 <small>つき</small> 上子苗子 <small>じょうし なわこ</small> 華羽旺美 <small>かわう まこと</small> 詠惠子 <small>ぎやく こ</small>

八倚高玄はぢたかげん
潮雲社耀しおくもんしゃよう
位い

級き
杉小須檜水若高花象すぎこすひすいわかこうかぞう
光坂森代象ひかり坂もりだいぞう

段だん
假名かな
象化ぞうか
龍風象りゆうふうぞう

大文杉神高有游練馬谷だいもんすぎじんこうゆうりゅうねんまや
静游練馬谷じゆうりゅうねんまや

行ぎょう
段だん
伊大原風象いだいはらふうぞう
奈雪なせつ
笠原風象かさはらふうぞう
奈な

齊伏深下枝さいふくしんげき
田海枝たかいじ

圓中青木えんちゅうせいき
藤島とうとう

本間吉岡相原由ほんまん よしおか あいはら ゆ

高杉高橋蒲原美たかすぎ たかはし はらわら み
谷利やうり

書しょ
位い
遠山林合えんさんりんごう
小落圓こらくえん
岸宮野下がんぐうのした

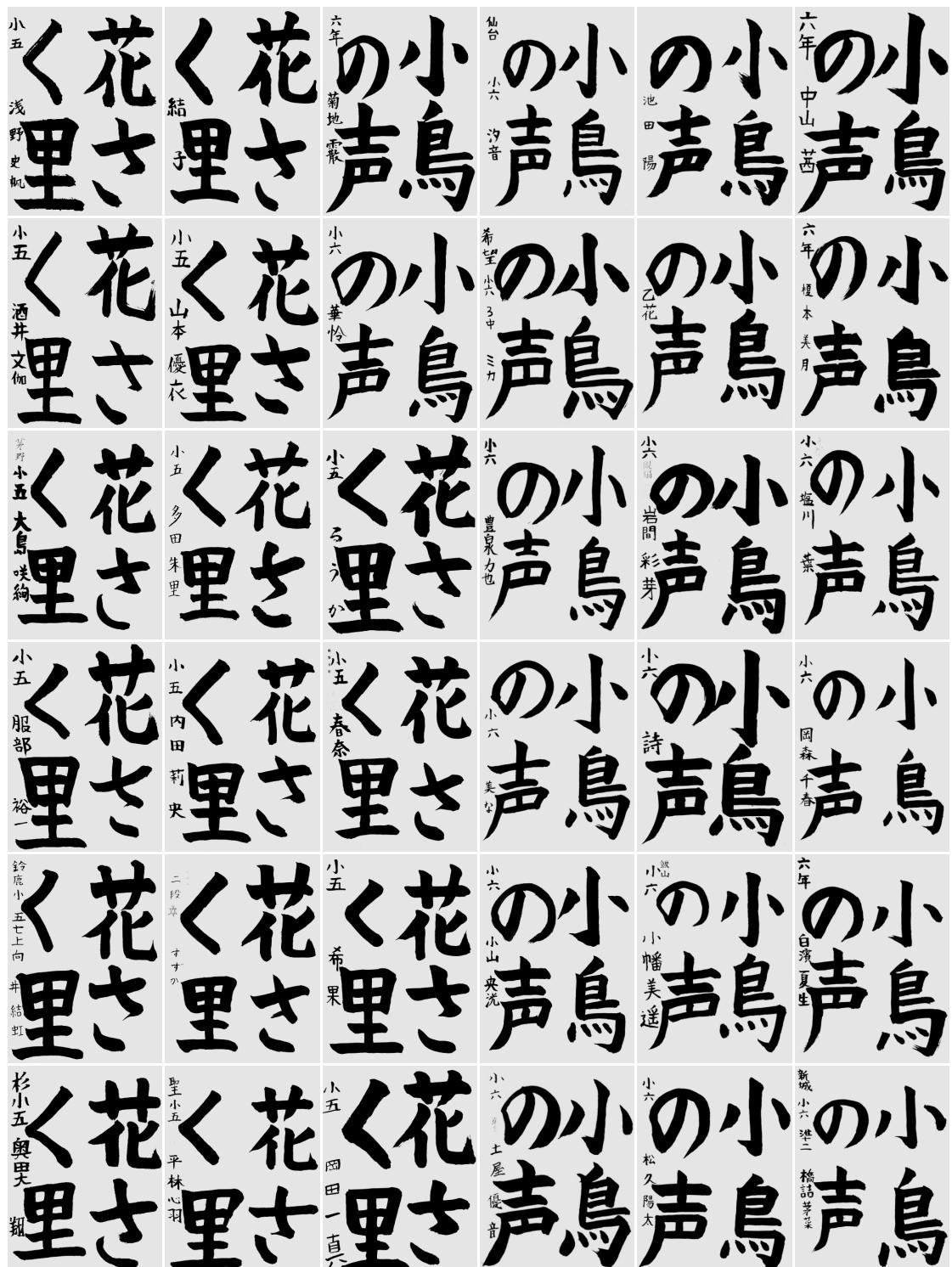
実武美峯子じつぶ みねこ
里美優子さとみ ゆうこ

和真子わまこ
美薰雲子みくわん うんこ

美友広美みゆう ひろみ
弘直智悠惠こうぢ ちゆ けい

葵子美子あおこ みこ
美子美子みこ みこ
美子美子みこ みこ
子子子子ここここ

かおる
月つき
上子苗子じょうし なわこ
華羽旺美かわう まこと
詠惠子ぎやく こ



杉 鈴 茅 中 練 聖 茂 和 有 松 倭 華 濃 富 若 江 瑞 飯 一 眺 新 正 静 房 三
 鹿 け 野 馬 二 穂 稲 虹 墓 雪 心 竹 楓 仙 台 祥 珠 紅 画 扇 紗 田 網 田
 奥 向 服 大 酒 浅 平 豊 內 多 秋 岡 佐 木 知 久 琉 羽 果 伸 昆 小 藤 佐 橋
 田 井 部 井 野 林 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田
 大 翔 裕 咲 文 史 帆 心 涼 莉 朱 優 結 一 真 希 果 久 羽 果 那 美 那 那
 一 虹 一 紋 伽 帆 心 羽 里 里 衣 子 奈 奈 奈 奈 奈 奈 奈 奈 奈 奈 奈
 中野 静翠 房正桂 三池 塩川 榻本 中山 千春 美葉 茜

草色 <small>四年早 岸上</small>	わか草色 <small>四年 河本明輝</small>	草色 <small>四年 心美</small>	草色 <small>四年 大森由葵</small>	草色 <small>四年 心美</small>	草色 <small>四年 大森由葵</small>	草色 <small>四年 心美</small>	草色 <small>四年 牧原史佳</small>	草色 <small>四年 品川侑理</small>	草色 <small>四年 品川侑理</small>	草色 <small>四年 李光</small>	草色 <small>四年 李光</small>
草色 <small>四年 重樹</small>	わか草色 <small>四年 河本明輝</small>	草色 <small>四年 心美</small>	草色 <small>四年 大森由葵</small>	草色 <small>四年 心美</small>	草色 <small>四年 大森由葵</small>	草色 <small>四年 心美</small>	草色 <small>四年 牧原史佳</small>	草色 <small>四年 品川侑理</small>	草色 <small>四年 品川侑理</small>	草色 <small>四年 李光</small>	草色 <small>四年 李光</small>
草色 <small>四年 太小</small>	わか草色 <small>四年 河本明輝</small>	草色 <small>四年 心美</small>	草色 <small>四年 大森由葵</small>	草色 <small>四年 心美</small>	草色 <small>四年 大森由葵</small>	草色 <small>四年 心美</small>	草色 <small>四年 牧原史佳</small>	草色 <small>四年 品川侑理</small>	草色 <small>四年 品川侑理</small>	草色 <small>四年 李光</small>	草色 <small>四年 李光</small>
草色 <small>四年 淮山</small>	わか草色 <small>四年 河本明輝</small>	草色 <small>四年 心美</small>	草色 <small>四年 大森由葵</small>	草色 <small>四年 心美</small>	草色 <small>四年 大森由葵</small>	草色 <small>四年 心美</small>	草色 <small>四年 牧原史佳</small>	草色 <small>四年 品川侑理</small>	草色 <small>四年 品川侑理</small>	草色 <small>四年 李光</small>	草色 <small>四年 李光</small>
草色 <small>四年 淮山 山石村志保</small>	わか草色 <small>四年 河本明輝</small>	草色 <small>四年 心美</small>	草色 <small>四年 大森由葵</small>	草色 <small>四年 心美</small>	草色 <small>四年 大森由葵</small>	草色 <small>四年 心美</small>	草色 <small>四年 牧原史佳</small>	草色 <small>四年 品川侑理</small>	草色 <small>四年 品川侑理</small>	草色 <small>四年 李光</small>	草色 <small>四年 李光</small>
草色 <small>四年 れい</small>	わか草色 <small>四年 与那城舞</small>	草色 <small>四年 開美々加</small>	草色 <small>四年 花里</small>	草色 <small>四年 花里</small>	草色 <small>四年 花里</small>	草色 <small>四年 花里</small>	草色 <small>四年 花里</small>	草色 <small>四年 花里</small>	草色 <small>四年 花里</small>	草色 <small>四年 花里</small>	草色 <small>四年 花里</small>
草色 <small>四年 まな</small>	わか草色 <small>四年 宇野奈南</small>	草色 <small>四年 霞墨</small>	草色 <small>四年 花里</small>	草色 <small>四年 花里</small>	草色 <small>四年 花里</small>	草色 <small>四年 花里</small>	草色 <small>四年 花里</small>	草色 <small>四年 花里</small>	草色 <small>四年 花里</small>	草色 <small>四年 花里</small>	草色 <small>四年 花里</small>
ぼりの <small>三年湯本待賀</small>	わか草色 <small>四年 美海</small>	草色 <small>四年 霞墨</small>	草色 <small>四年 花里</small>	草色 <small>四年 花里</small>	草色 <small>四年 花里</small>	草色 <small>四年 花里</small>	草色 <small>四年 花里</small>	草色 <small>四年 花里</small>	草色 <small>四年 花里</small>	草色 <small>四年 花里</small>	草色 <small>四年 花里</small>

[小三] 往鄉 みなみ 皓花 玄樸 美菜 光丘 千曲 八潮 藏湊 霞墨 右文 華雪 名東 芙二 番野 河本 黒澤 [小四] 有象 砥雅 中央 飯山 高嶽 李光 照澤 長寿 大象 星港 皓花 港南 高風 烟野 山田 結衣 那美 喬里 創太 純扇 一絵 神奈 雅志 塚越 梨子田 野澤 坂本 岩村 岸上 立川 橋本 三井 安藤 加賀谷 清水 守屋 関菜々珈 心美 瑞花 紗由 創太 純扇 一樹 奏音 律貴 志葉 亞麗 保奈 麗舞 吳美 雅舞 優智 早智 奈南 美奈 奈南 美奈 創太 純扇 一樹 奏音

國枝珠里

小二

たつや

はるか

かず

はるま

成雪

陽矢

し水瀧

小二

天ね

せ下

まこ

に小二

坂上

慧春

小三

鳥田

天ね

清治

二年

今村

高橋

斗

富岡綾美

小二

天ね

万純

有里

珠里

馬

香

近藤こうつ志

大樹

中山万悠子

下田り子

吉野麻奈

玲奈

杏

心音

高風

功志

大樹

綾美

快仁

心音

仁

涼子

大樹

功志

めぐ

心音

心音

心音

心音

心音

心音

葵五

大樹

功志

高峯

大樹

高峯

心音

心音

心音

心音

芙蓉

芙蓉

芙蓉

霞墨

霞墨

霞墨

芙蓉

芙蓉

芙蓉

芙蓉

高嶺

ああにあきらかにいものでしや
れしがそれを使ふる範囲へ
かわいへとて価値がない。

尾形光琳は装飾性の高い彩色
画を生み出す一方、水墨画にも優
れた作品を残している。阿部重生

尾形光琳は装飾性の高い彩色
画を生み出す一方、水墨画にも優
れた作品を残している。吉原慶衣

日本は資源は少ないが、水
と緑が豊かで、四季の変化
もすばらしい。
パンダの親子にあいに
上野どうぶつ園へ行き
たいです。

名前 正桂
年齢 六歳
性別 男
年号 明治四年
詩題 漢文
説明 漢文六歳二歳の時

日本は資源は少ないが、水
と緑が豊かで、四季の変化
もすばらしい。
パンダの親子にあいに
上野どうぶつ園へ行き
たいです。

名前 松井理子
年齢 四歳
性別 女
年号 明治四年
詩題 望月深緑
説明 望月深緑四歳の時

日本は資源は少ないが、水
と緑が豊かで、四季の変化
もすばらしい。

名前 正桂
年齢 六歳
性別 男
年号 明治四年
詩題 漢文
説明 漢文六歳二歳の時

日本は資源は少ないが、水
と緑が豊かで、四季の変化
もすばらしい。

名前 吉原慶衣
年齢 六歳
性別 男
年号 明治四年
詩題 漢文
説明 漢文中一歳の時

こうそにまどろみいもがでしや
れしがそれを使ふる範囲へ
かわいへとて価値がない。春井

尾形光琳は装飾性の高い彩色
画を生み出す一方、水墨画にも優
れた作品を残している。上屋敷有也

尾形光琳は装飾性の高い彩色
画を生み出す一方、水墨画にも優
れた作品を残している。吉原慶衣

日本は資源は少ないが、水
と緑が豊かで、四季の変化
もすばらしい。
パンダの親子にあいに
上野どうぶつ園へ行き
たいです。

名前 福田琴子
年齢 四歳
性別 女
年号 明治四年
詩題 晴翠
説明 晴翠四歳の時

日本は資源は少ないが、水
と緑が豊かで、四季の変化
もすばらしい。

名前 鹿野結菜
年齢 四歳
性別 女
年号 明治四年
詩題 鹿野結菜
説明 鹿野結菜四歳の時

日本は資源は少ないが、水
と緑が豊かで、四季の変化
もすばらしい。

名前 菊田未空
年齢 四歳
性別 女
年号 明治四年
詩題 菊田未空
説明 菊田未空四歳の時

日本は資源は少ないが、水
と緑が豊かで、四季の変化
もすばらしい。

名前 理子
年齢 四歳
性別 女
年号 明治四年
詩題 菊田未空
説明 菊田未空四歳の時

日本は四人に一人が高齢者とう
時代を迎えている。人生の時間に
限りがある。北斎特級 芽衣

尾形光琳は装飾性の高い彩色
画を生み出す一方、水墨画にも優
れた作品を残している。三平 彩加

日本は資源は少ないが、水
と緑が豊かで、四季の変化
もすばらしい。

名前 中嶋彩子
年齢 四歳
性別 女
年号 明治四年
詩題 中嶋彩子
説明 中嶋彩子四歳の時

尾形光琳は装飾性の高い彩色
画を生み出す一方、水墨画にも優
れた作品を残している。伊藤誠悟

尾形光琳は装飾性の高い彩色
画を生み出す一方、水墨画にも優
れた作品を残している。川口菜々香

日本は資源は少ないが、水
と緑が豊かで、四季の変化
もすばらしい。

名前 能村実俊
年齢 四歳
性別 男
年号 明治五年
詩題 能村実俊
説明 能村実俊四歳の時

〔硬筆〕

〔一般〕
浅間 笠原朋苑
北府 魏山
名東 豊田
光丘 青沙
大象 中村
船橋 伊藤
霞墨 芽衣
有象 青沙
大阪 阿部杏生
船橋 上屋敷有也
吉原 緒音
川口 華雪
吉原 優羽
菅田 華雪
吉原 優羽
幸鈴 緒音
大田 伊藤
高橋 望月
中西 霞雪
理瑠歌 緒音

日本は資源は少ないが、水
と緑が豊かで、四季の変化
もすばらしい。

名前 道端柚
年齢 四歳
性別 女
年号 明治四年
詩題 道端柚
説明 道端柚四歳の時

□写真版
☆秀作
○昇級

房」書東游座相龍美飯靜雅書茜玄「玄竹巍備磯新六」笠「玄」長霞「笠」静長書華大高東京笠高一國大志杉若文茜元靜玄大
 風集光墨吉模文苑田之心樸華山後辺城会原黙野墨原野之雪象風陽都原風絵府阪摩竹化樸黙象師行師
 秀秀
 汗雨露禮由秋レ映沙成京雅蕙翁蒼晶め理貞ハ葉敷美泰禾文靜夕泰春昌裕朗輕梗華雲檻千雅泰白秀雅波汐秀耕麗茜静真雄範書
 イイナ惠麗
 露虹彩子光麗子雪泉苑江香翠沙峯山み香松コ桂子子薰亭我苑静淑霞袖帛静静仙唱翠容峯花静幸慶葉光華玉香庭山爽沙花意峰
 信上靜産美八青珠紅八難今柏美平星小浅房富柏奈玄須上小玄桙伊「京珠聖志玄倭若杉自綾上桙葉瀬富玄糸」魏蒼玄「玄產柏葉国乙蒲入
 大里翠吉菜南雲懸雪戸山井芳苑成空間風貴心華嶽坂尾光耀森奈都紅摩嶽竹產華里森月戸貴黙書山穹心黙吉心月府訓田間
 秀秀秀
 桦靜翠舜祥麻知紅光翠武我沙明径光祥壷桟淳采智康光耀劍邦良珠花雪詠綠太邀和絵天弘白藍順幸小霞薔勇光志琴楠壺美尚典空
 製
 虹仙翠花香菊虹子敬扁山春山春櫻石観映桜藍舟葉真沙漣杏山絹楓楓遊瑠園草水一月春子映妙子羽香道泉映菖峯紗道月舟水仙山子正
 リ梯上中梯「一錦」「浅房美八茅」「淺茅玄」南梢玄「小」「上京笠半晏沙華蒲湊頃宮房」樺静
 森里勢森繪黃間風二南野間野燭武川燭光尾都原田墨羅雪田雲地風森
 秀秀秀
 恵哲陽桂桂涼素は恵李錦錦韶愛湖天み希春峰秀莉朋容李正曉志美耀寿陽南泰耀小光光光光康康康洋泰桂泰清華玲汀貞笙笙溥歌靜
 陽るち惠
 星山松耀舞香州み爽風泉葉雪泉光泉翠子紅信弦峯杏苑光香純道豊ノ楓煌笙彦菴柊孫惠德搖霞惠螢仙清楓蕙翠慧羊穗笙紅静仙玉山紅思
 リ瑞大珠「京」瑞「京」「瑞」京麗碩宝東硯碩「桙」東「京」「瑞」祥手紅都祥都墨雲春陽扇雲森陽
 名名名良珠こ邦紀絵名名名照美弦和佳寿明禮博津典初信悠芳紅壯昌泰欽多寶裕感江江千敦見谿武豪廣素祥江天光文小英佳優聖
 す喜
 扇芳秀風龍杏え子楓洗紗松柏鈴楓楓照代惠雅美子楓楓楓楓楓江川一幸雄造子春美心惠翠苑子紹香浩峰山風己風幸水嶽琴遠蓮華嶽
 北若北唯妻「北新半新土」六「玄」新飯紅「源」玄皓「白」皓「桐」奈「聖」汀「志」府竹府城田堺会黙城山竹創黙花黙岡花生華松摩
 千汀厚聰惜仙頌津凌伶美景雪蘭ふ千清旭五大優永麻香彩晴惠美邑澄天主心顕奏齊景皓薰天明美香皓翔梗壽千善勤祐真惠由絹順明柳涼名
 弥智じ嘉里美音美
 景心子子春翠山山子翠那子城川月枝子天玄裕福慶子実菜織香美子里峯子性鳳燈山絵花光雲不意泉泉扇花子花石翠泉子幸子以美子子美舟華志琴
 リ華長硯沙書硯「長霧沙雅神若」飯玄磯沙照玄「玄玄」磯平「磯」備若平「妻妙大」
 雪寿羅之壽訪羅龍松田嶽辯澤心樺心辺成辺後竹成科高泉
 華華華奥華華華華華華華寿硯千葵真壽寿舒立雅穗雅雅香肇玉希完善勝蕙葉綾照珀か小和葉葉葉葉葉葉雅明葉葉葉葉菖菖尚照春芽貞萌友雅
 駿聲凰泉桜凌遊紋杏逕慧優芯煌鳳心羊翠理香敬雅山子染羊春映風子蘊泉頃翠江葉壽羊と舟董雄明芳徑仲榮子麗蕉梢楓明泊月悦瑠清花花泉美
 リ青「飯」藏「美東六」美美美「秀」玄美「玄」玄笠帶照磯沙「高」大静「大」雲田苑根郷苑菜苑筆那州筆菜雪樺菜樺原中澤辯羅風象象
 竹純瑞明千桜成梅梅沙沙紅香沙啓光輝陵彩露令姍朱秀菊淨朱純芝輝嶺明翠春桂芋荷緑美袖夕小泰和照葉花有祥蒼清圭西恵靜宗悠水馨華
 虹彩竹竹雪玉華秀惠蘭桜雪子麗弓苑雪光蘭光光那峰子沙華音悠枝山花華山花美法里春里玉風杏香紅楓仙子好苑羊希仙風苑芳幸心花煌秀彩孫
 成笠霞若長千長花長董長松静莖野代野野象野代野代野象野代野象野代野象野代野象野代野象野代野象
 悅泰泰泰泰泰泰久泰安泰泰溪湖晨雪梗梗静静玉杏靜靜幸晃要富秀溪恒靜鳳靜翠皓翠照美靜惠靜伸翠君靜珠遊江小玲盈美逕澄
 智美
 子咲笠芯松空寿乃城恭惠邦姬芸穹桂岑舟霞堂室霞華紗映千靜靜澄志靜靜竹靜華苑靜琳印邦花靜桐江紗笙雅靜子鶴子敬予真子惠蘭心靜翠秀月靜光子
 リ巍「梁」巍「巍」玄「巍」崩紅大「須」玄「玄」香湊香志「湊」志「笠」山書山書山曜山黙月象雪坂嶽摩摩原
 美霞晨清恭佐心霞美溪青美松江雨茜小晴眉花信茜幸光南杉杉杉静紅萌千智智智智芳美李双英光祥華悠詠土葵植皓藤良晨汀妙華聽香道清泰湖光
 悪夜
 子舟雪茜影美花泉麗茜沙茜沙茜香草子沙月仙翠英帆花峰容惠素柳玉惠洲翠暉峰葉雪葉葉葉葉葉葉葉李鳳葉子草子正秀茜仙遥月苑幸子淨亭竹
 紅富瀬富瀬富瀬富瀬葉柏產柏產大映「有文春」文「有文」文「春」
 雪貴戶貴戸月心吉心吉阪心象化玖化象化玖
 紅千重藍陽俊喜天天壺典恰天竹一典陶草五弘美百善真陽知美三和琴ま芳華鹿芳洞清春蓮硯秀珠敬珠映祥愛麗蘭華頌紗麗曉秀有比麗節爽千京千節
 奈合佐智す真
 彩照子月景瑛春虹苑進子香榮心風子華竹代子一子子真子行子三子子峰聲舟舟光桃舟舟娘悠玉松芳節麗吟節光風虹湖麗月光彩節麗節節代真
 リ御若「映有映岐彥」中港岐「港岐」游嵐產「產」游壽「富」石愛壽「東神足美八若八」静「足」右船「石新」富瀬
 牧竹心象心阜根野南阜吉墨台士烟心合光羽容南駒南象羽文橋峯城貴戸
 鐘貞貞豊和映珠映麗俱栄康悠慶和窓芭窓窓保禮友弥萌惠茫高高征美昭秋美翔翔絵訪ふ千健道整昭明冬真萩靜寿美松梢裕八瑠陽明壺喜華友
 男み代智智惠重登
 洞竹泉苑水祥岐笙竹華子香子華子は窓苑心真子光子生禾彩苑苑花光光子代穂鶴哲里泉え子夫子代惠雅花泉成汀子菜琴子子月江笛晶咲英梅
 リサ書サ書「長昭桙」相龍「新」「小」一墨白「相國」水名「綾六自折國自玄」苑竹自「杉士」「杉若
 ン集ン集翠島森模文城平路洋山興府代東華鄉川產原府產成友座曜竹
 久直靜美碧千愛美里香豊谿翁樹暎孝晟矯清暉初良佐摩芳木杠智花な照志た景祥隆教久照昭流淡柏景清穆由美子心紅採明鉢煌暎蘭初小無靜恭
 彩以おか美惠ツ
 子子京舟舟絵鈴芳砂絵翠山暎柱光光翠光光苑山江子子紀月華華園天美節泉ね泉月雪子惠美惠溪愁園草遠舟子子快流花光華扇汀庭泉流双章月
 蒼玄房蒼座「蒼三」美玄神右岐「宮八東神」松八「美静南」蒲甲春乙備秦靜「正遊松墨」国八岡み国虹「梶」八梶「柏」
 穹川心五風穹吉穹池五成龍文阜川戸和奈南戸墨墨田府凰訓後野桂戸心府南谷月府友友潮友芳
 理杏玄廣尚壺天菖青秀妍研溪佐里清朴孝美礼祐彩直懇朝志玄哲照南文浩琴春千菖芳靜と花優遊久翠鶴景江通陽峯虹花慶寿逕み倉絵彩已詠
 代知よ美な
 花果穗勝峯子登澄月松麗象龍風子奈公山風陽子子貴香子泉苑凜子子峰岳子子水鳳春紀月香子峰美嘉子溪苑仙蕙明子山洋逕山月月み子華雲芳舟

"北倚若玄玄秀信土備靜高神書光笠大高柏葉巍極"和聖"李"汀房八碩伊麗足石書若杉綾蒲宮新杉沙水珠橫和高玄富春蒲桐玄石船嵐相書玄 晚心
 府雲松心樓雪州筆後 風龍之丘原象風心月山友 光 松風南雲奈墨羽烟集竹 華田川城 羅代紅浜 風心貴玖田生默峯橋山模集默準月和
 嘉登順千雅李惠百飛菖玲真祥翠政雅美高綾孝伊瑞孝 璃京幸明旭理政輝菜琴真朝 蘭友佳悅た煌紗佳珠晨靜ま了安節さ雅月洋久正勇章範
 志 愚也登 淳々 舞紀か代さく仁
 予子子華子雪子榮悌佑奈菜星幸一子水月子子子子子子江美美惠行子羽希花子 光子子子心羊子水英江み瑛夫雨ら恵性一咲子惠一敬 予亭
 押折"茜" "玄" "産" "魏莫玄聖瑞京" "房淺茅美" "笠若笠藏青" "静白長蒼靜北京平士擇八書笠長小京白產足上小靜 玄大有青
 心原 默芳貴山 横吉 山月嶽 桧都 風間野苑 原宮原雲 岡野穹 城都成筆森南之原野光都山吉羽里平 師仮心阪象雲
 秀秀
 映柏賴茜圭天禾我壺霞震小半琴想心小西壺英花名雅天壺賊曉沙泰湖便泰惠瑞玲珠朗朋恭秀靜悠洋照耀彩江蕙泰晃小弦照范美溥木秀範名一凜、順美
 智溥也
 笨園沙沙鳳意苑山藍菖泉楓里月花花映草水葉瑞松幸翠玉映道雪芯亭華柚香竹秀蘭仙泉光麗香翠楓悅光紅蕙翠城靜秀照節苑子仙華峰 幸玉 予子
 国神"浅静" "正国互墨" "国若" "八大美" "右墨" "玄" "新" "一珠有八静難若平" "備星備東若" "映サ上錦玄一小志汀書長樟緝寿八府
 間象 桂府月心 府駒 南内蓉 文洋 黙城 紫悠穗南 山竹成 後後陽竹 心シ里黃耀路平摩松集翠森丘台南
 秀秀秀
 鶴整湖愛寿花優と峯祐翠景美真冬萩す明梢松な五大旭清光薰齊心陽優惠は知穂春京清汀雅菖菖ハ径菖千恭映映珠美陽錦耀智杠聴由谿樹暉象訪希
 よう どお 登る ナ 美
 苑子泉光汀峰美子山子溪仙仙花雅庭蕙翠茶美福我容辛紗禾花燈江子爽み子波信江西心子泊コ石朋明月祥芳華岐砂映泉楓園華月子山光山月泉紅
 美新松石石" "蒼石八" "蒼玄 右船靜石東" "御自" "若" "自國に緩小絛若" "杉士" "杉" "新東" "大玄新" "半" "源" "サ" "苑東源玄竹足紅六
 咲城戸畠峯 穹峯戸 穹成文櫻象烟光 產竹 產府產華川華竹 曜城光 象成城 田創 ン 光創黙灰羽竹鄉
 英佐久翔瑠姪菖菖八彩理妍朴真梢裕静翔道豊貞心冠耕和清景淡絵流久太採蘭曉明無靜鈴秀初香摩千巡饗水翠穆敷景桂澄邑詠靜美由禮悠大テ 美昭
 以美 重理 梨 代 惠美 ツ惠音
 流子子鶴月象月風子香花龍山子陽子成哲子苑泉快泉山春遠草愁子溪惠一花庭汀光双章華庭泉織紀子光秀煌宇舟子城翠子峯舟京子子水慶子 里惠
 "京浅中" "浅" "瑞聖" "相昭京瀬" "瑞玄櫛晏南" "浅成" "水国" "相" "須玄浅" "茅" "房" "擇" "中" "上" "擇" "上" "京" "長千長信" "長東
 都間野 間 祥 模島都戸 祥耀川墨武 間城 代府 興坂暉間 野 風森勢 尾森 尾里 都 野曲野大 野光
 邦紀蓉栄朋莉名名名典良初清寿弘名齋泰壽韶李悅峰祥景た志智智燦峰志美壺理素天桂桂康涼誓康康陽初邦文富静静幸梓杏渙静秀ふ
 み 予子光香苑杏柏琴扇芳子江苑雅子洗紗杏泉慧煌泉香子雪月泉ね泉祥輝峯弦豎子桜惠州妙舞耀恵仙香山清螢沙松楓靜淑志靜虹靜苑澄華え
 楽" "文有" "春" "柾" "八" "柏" "聖湊志" "華大華東平硯東" "華彦" "港岐" "京" "游愛寿長" "サ游サ游" "東産" "富" "書長" "書
 書化象 玖友 潮芳 摩森 雪象雪陽成扇陽 雪根 南阜 都 墓心台翠 ン墨ン墨 陽吉 士 集翠
 晴紗爽麗有京千千花綵透壽彩己碧富最涼素華華華雄華感明谿千奧華華華 珑窓蕉窓保明禮美征絵昭景千美碧友直禮江見高美秋愛雨谿暉典佳和彩
 紀 勇
 沙虹節節美節節代運華月月雲芳瑤子秀華風聲秀絵遊峰凰心櫻香苑泉凌德芯 心窓苑真子美子光里子光繪舟舟子子光翠紹苑Theta鉢虹障光楓惠代楓
 " " 北玄長花" "長松長岡長" "蒲土蒲美玄惠玄奈本" "奈" "桐奈桐大白" "大" "房玄" "湊" "富" "巍樂" "巍僕" "巍崇" "巍樂" "巍
 府模野象 野代野谷野 田曜五心五川心華庄 華 生華生阪岡 阪 風嶽 貴 山書 山 曜山書
 友伶隼厚閑千寂仙桂靜翠鳳靜美静通照典文杜玲清玄尚尙勇勵桂淳善秀淳裕湊萌香敬珠玻璃壺汀葵最曉汀妙天華茜雨美霞青佐綠信美伊小松溪翠美恭
 智 惠登夜
 美那山子子景翠翠春唱花吟邦子琳明静子子山笙公穗子果峯子秀子子翠泉子石玉扇玉松玉悠登霄葉玉草紅仙虹英香茜舟沙美水翠子子沙茜山麗影
 " " 槌笠京" "富嵐杉恵" "產龍相" "桺" "葉" "玄" "葉柏" "葉" "柏葉" "京產" "香玄" "葉東" "美" "磯" "妻巍" "
 森原都 貴山川 吉文模 森 月 槌 月心 月 心月 都吉 罰 月根 菩 月根苑 迈 科山
 文光惠泰良天重喜弥陽惠秋翠青映レ英優芳美李純淨春翠晶晶夕和琴美華ま啓悟芳蓮真悠信春藤禎詠百知三弘紅沙沙沙葉葉葉葉葉葉春春惜貢領凌
 一智 奈す 佐 合
 猶水星咲楓苑子咲生子彩麗花松雪子遠華子雪華山里滋山香紅子三子峰子舟舟子楓桃枝子李子真行子雪麗春泉苑蕉溝草伸曉徑清瑠春松山翠
 " " 静" "富" "董" "小" "瀬" "珠" "大須" "柏" "神" "雅" "文有須" "玄" "サ" "書樂春" "文" "志" "南小水" "サ" "貴
 光 戶 紅手坂心吉心龍松 化象坂 象 罰 ン 集書玖 化 摩武平代 ン
 静遊怜明典藍翠翠静翠翠光典五喜竹白陶友良珠光智鹿秀採香肇雅雅雅曉泉麗智祥夕李双華芳豊久谿谿幸麗秀錦華楊香雪清道陽芳隆里香劍小
 美
 花心香笛子月雅桐真江笙穗子代春心羽華梅龍遊風洲聲娥舟風子映春染香麗秋吟真節葉葉葉葉翠子彩芳祥泉湖月風光舟苑子幸笙月雪絵織山琴
 美土" "六美" "大" "御" "笠" "湊潮" "富" "小" "乙" "静長靜" "長靜甲" "白" "皓春遊" "松櫟神東今" "美國南" "岐" "
 芮筆 会那 象 牧 原 戸 貴 光 訓 野 野翠府 岡 花麗 戸 南森奈和井 墓府墓 阜
 沙陵千美ぶ霽圭西貞鐘泰久泰泰汀華草千陽光光光千尚君靜靜美盈裕小靜要江玉靜靜琴玉美皓翔景皓春遊玄朝志溥憲直武照哲雅南美孝靜
 知 美
 桜光子子枝峰苑光竹洞簾蕙薰空寿茜遙竹照景霞惠漣春山子患思月静月静翠幸竹靜靜千映翠水泉泉雲子光花鳳嘉凜花苑山泉子春子子華岳子子敬子鶴
 " 書" " " "笠" "飯" "美玄" "玄" "沙" "四" "紅萌八柄霧飯玄" "照帶笠" "沙秀玄" "巍" "磯飯" "京麗" "宝伊" "東霞" "高" "華" "笠" "笠" "笠" "笠"
 之 原 田 菜 横 菜 横 谷 雪象潮友訪田樸 澤中原 罗雪樸 山 迈田 都墨 春奈 陽墨 風雪 原
 梗葵泰泰泰泰泰玉成霽嶺霽輝亮穗綾盈幸紅紅靜み處舒舊綠照照和泰花紗秀 江晨葉葉葉成博美絢照津芳裕康江祥雪白有祥清慨華泰美泰
 な 麗
 翠翠恭桂穹穹蘊華香苑花月山風羊羊心朋柳散彩素み山山翠風和好子仙羊羊悠 茜雪芳楓梢苑楓楓鈴楓江美春絢風己霞葉希仙風花惠優蕙亭淨松
 書若" 杉書靜綾芙蓉" "中葉" "笠上平磯霧さ" "沙照春宮美" "高笠玄入墨茅志産" "小倚高若八 飯" "青" "藏六青玄" "笠若玄" "霞大土玄" "硯
 集竹 集山華二峯 野月 原筆成刃訪わ 羅澤玖川五 風原櫻間洋野摩吉象 光雲風松南 準田 雲 鄉雲樸 原宮樸 墓泉曜心
 秀秀
 勇晶邀紅朝佳照み洋鐘康善彩安啓明葉立節清干照節悦里ま高宏め空千正清麗光光順真由政範明桜門純麻竹梅梅香千小泰広泰泰梗夕溪萌蘭鮑硯真
 ち さく ぐ 津
 一影月流子麗美子一采子一乃芸光麗采子子羊羊采雨子奈み月恵み正波純花光竹搖覗子菜紀行 玉竹彩虹虹秀惠子雪董邦姫舟慶紗華霞泉月舟心理
 " 浅" "大櫻上静桺" "静八右土若神蒼土白玄白玄新半産中綱八瀬房茅玄岐若蒼 奈皓" "新須産柏倭文有柾" "北妙新苑桺" "東頤珠聖李靜汀中相長
 間 阪森里翠森 戸文曜竹籠曜罔黙岡黙城田吉野丘湖戸風野黙皇穹 師漢華花 城坂吉心 化象友 府高城 森 陽雲紅 光 松野模翠
 秀秀秀
 容祥波萌劍濤靜彩静秀玄梢花志惠菖壯明大玉天敦景秋肖象運陶壷晩光孝鐘秀範条干梗世晴千昭 宏麗比瑞津美萃彩澄豪敷江天真こ惠京申絹悠正孝
 幕 津 真 亦 也 づ
 光映玉山仙翠紅香峰凜陽仙華風風山泉我泉遙子城麗采月月華桜道紗子嶺麗 幸花子美惠子 美爽彩子子花香子峰子惠幸靜え美子予子華惠翠

柏"瀬富湊瀬柏長" 柏書土サ上妻水国玄葉高顧京巍若一茅サ草小藏千信長	静大志須富柏富 高笠青飯笠磯平星顧"巍"若一晏房心 戸貴 戸心野 心集羅シ尾科代府成月風雲都山竹絵野シ 光 曲大野 象摩坂貴 貴 風原雲田原辺成 雲山 竹路墨風秀秀鹿典喜白天汀竹蓮恒 華楠雨麗碧康惜峰雅穆壇惺武雅翠太惠峰千翠小恵靜梓富朗靜盈玲珠靜昌悠聰智天泉典白清泰竹成泰葉照徑真茜霞鐘冠幸泰壺真
"自國小茜白墨" 長小"長藏" 莖"長花靜長" 靜長" 大" 瑞" 志" 湊" 須" 玄產" 柏董柏葉瀬葉瀬	産府川 山洋 野光 野 野象 野 象祥 摩 坂 嶽吉 心 戸月戶
心和清景流谿照な幸晃光渙玉静静梅翠杏静秀文要静翠静皓京優君静照裕遊小江西主名霽香汐雪涛妙汀晨智智智李芳士詠琴芳硯採翠洞敏友和草お	
快春遠草渓沙節美靜靜惠苑靜千淑惠桐真靜澄華靜竹唱花敬靜江月子惠靜靜心翠靜光苑松紗苑香園花仙茜秀輝峰爽祥葉鳳李月舟舟雅舟子梅子竹	
玄" 東顧東" 磯若" 曲" " 玄磯" 備" " 長硯" " 美" " 青美東霧六土飯備飯備飯笠霞" " 笠" " 高" " 富士 機 陽雲陽 迈竹 之 橋 迈 後 寿 菜 雲那根訪鷺筆田後田後田原墨 原 風 原 貴曜	
翠見江多千葉葉汀葵蕙嶺夕小輝葉ハ菖寿壽寿硯霽壽純千瑞壽紅舒香燐完菖玉菖桜夕広安泰有祥蒼泰泰久泰泰泰美泰安明重天壺鈴喜 十 津	
法苑詔風子靜草曉心翠花紅董山濤コ朋香星敬心月苑楓彩雪竹峰雪山子光佑碩玉舟霞姫芸帛希仙風城咲恵松空寿萱蕙亭淨桂夫笛子虹晶進華杉" "玄橋" 茅房" " " " 浅錦" " 中大" 上" 京聖国相" " " " " 巍大" " " " " 京" " " " 願伊宝" 柏八" " 京" " " " " " " 燿川 野風 間黃 絵 勢阪 里 都 府興 山手 都 雲奈春 芳潮 都	
採南燿燿泰美志天湖愛李韶明莉琇錦秀李桂桂桂桂桂珠陽博彩花景志小霞江恭霞佐溪光邦美典良照津泰昌壯康寶博我壽信初淨亮春統芊小晶袖惠	
花彥楓杏泉子豊翠泉光香泉苑杳峯泉光風富舞耀峰翠悠松映楓楓瑤泉映舟茜影菖美茜楓楓楓楓楓雄幸一絹春舟山月楓楓楓山風里華里楓山香	
房芙蓉" 桐白皓" " 紅半" " 源" " 石" " 右" " " " 檜岡國墨" " 国乙遊秋甲南" " 檜巍倭巍土紅" " 御" " 若" " 映" " 風五心" " 生岡花" 黑竹田 創峯 文 森谷府心 府訓 川府墨 森山 山曜雪 牧 竹 心	
春清玄湧秀美景天志齐禾頬紅桂悠享雪八瑠梢松文小英佳星優豪素哲聖素天涼通峯翠景美鶴尚遊翠琴南廣光明綠茜紅貞豐鐘貞惠耕咲嶽映晚明重	
海公勝泉翠泉光意道花苑山玉翠水月文永子月琴菜嶽遠蓮紅華峰風山嶽州妙香明山溪仙苑山嘉苑水岳山水麗水萸柳竹苑洞泉子山紅心芳華汀光	
玄杉紅春水中" 曲" " 港彦樟" " 曲" " " " サ今港" " " " 上" " 北妻京美八" " 松櫛神靜足" " 八神" " 東石寿産文惠文産美東産東" 玄本" " 蒼" " 機 竹玖代野準集 南根森 集 ン井南 尾 府都墨戸 南森奈象羽 南 光烟台吉化吉咲光吉和 成庄 穂	
秀秀秀秀秀秀師 芝秀美京隆穗範愛玲窓蕉 嘸谿谿谿谿久里直美詠靜美武窓康康康隼悠春洋哲彩朝志溥櫻靜照冬萩整禮千翔訪青麗惠錦芒英ふ高直真朴桂菖妍壺天音 男 美 代 み 理 華庭里節雪華 鈴窓真苑 山芳祥暉山子絵子砂舟京舟春心沙蟹惠山山翠清楓子香花苑山泉成陽雅泉子子鶴泉松節彩風苑雪え苑子山秀月象登澄	
" " " " " 魏小華若" " " " " 華" " 小静小静 国信玄花玄" " " 桐玄" " 皓" " 玄飯石" " 足石足櫛神淺" " 磁大" " 青美瑞漬葉蕊茅房薪新有春長山光雪宮 雪 光 光 府大心象心 生心 花 黒山峯 羽峯羽森奈間師硬辺象宮雲菜祥 月山野風五城象玖野因秀	
翠霞小心晨恭江小華梗華華華華華光君光小真雅梓元翠廣雅秀清濤勇皓翔光大東八 真佐瑤美涼懃朋範筆葉翠梗明壽名晨弘雨正理里安愛千靜理	
山舟映花雪影茜琇蓉紗紋遊桜煌凌杏穗連惠子霞翠子華虹勝花峯惠翠泉石峯花子紗慶子子 希代月子香泉苑 徑邑紗竹華柏玉子香純惠奈代麗節映	
" " " " " 玄" " 志聖玄瀬" " 聖" " 葉瀬" " 華富茜" " 華土富白" " 華笠華" " 笠" " 玄上書上" " 大上樂文大北書倭唯" " 北小葉城巍北" " 飯" " 春有雅春巍榮" " 巍榮" " 嶽摩 嶽戸 月戸 雪貴 雪曜貴山 雪原雪 原 横尾之尾 阪尾書化阪府之 心 府平月彩山府 田 玖象 玖山書 山書	
華美汐聽李竹典 陽真白華由華華茜華華鈴明照華華泰泰柚め春康蔵康敬萌康美紗珠閑葵緑眩弘美杠啓真貞明成菁麗千有雅京美松霞晴小夜藍 佐 子子羽凰貴聲英沙彩駿笛節慧優松逕舟帆舟香里蟹翠仙玉惠茜虹悠子翠水子美子華子美松子苑翠湖節美香節麗沙草泉沙子	
京" " " " " " 京" " " " " 聖" " " " 京大" " 東中櫻八珠虹映" " 東" " " " 檜八京麗伊山笠若光美磯" " 六瀬富文" " " " " 澄秀玄瀬" " " 葉玄香葉" " 都 竹心 都 都手都 陽勢森南悠友心 陽 森南都墨奈愛原松丘菜辺 会戸貴化 戸雪櫻戸 月嶽 月	
津恭京映洋禮明信初紀花富真京美絢光悠敦江桂素春知尚映江千見小文佳光希照琴か瑛泰肇裕霽葉千美五典暁草喜陶一典弘秀小友美壺芳葵藤ま芳采紀 お 嘉惠 ネ 奈 す	
楓月祥楓子美楓楓子瑠子以虹楓楓風楓子惠舞州信子子華風苑絵琴嶽蓮水紅鈴羽る華仙子子苑栄子子代子麗竹春華風子子悠楓梅子水子葉子子葉葉玄花春東" 大皓元源石" 船八若相浅" 檜伊京葉富書志聖久巍 玄" " 東伊東" " 映" " サ映" " サ蘆" " 八寿美愛美" " 游" " 港中玄相" " " " 曲サ京聖黙象玖根 阪花默創峯 橋南竹模間 森奈都月貴之摩 喜山準默 ン 阳奈陽 心 ン心 ン月 南台容心咲 墨 南野黙模 集ン都	
章藤節紅凜珠皓天澄洋干美し早良湖優豪菜典和藍奈涼璃美青範圭久千千感康祥珠映詠美映里香直蘆荻冬昭明絵英征友窓窓穂四初雨谿谿愛美邦恵紀のタ 美 様森	
敬花雨雪玉松雲性子一咲子ふ苗子泉華峰子楓子月々華子子沙 玲子絵静心絆己岐笙舟砂芳絵織子月泉雅子惠里雪光子真心華葉江虹暉山祥鈴舟楓子玄" " 志京倭絹高笠北小玄上須国靜" " 婦玄葉" " 高磯美玄東靜" " 大杉玄皓白鮎石右產新書" " 若櫻上浅" " 静上大若笠霞董美高右玄志 嶽摩都 丘風原府平模里坂府翠 山熟月 風刃成菜樸心和 阪 黑花闇南峯文吉城集 竹森里間 尾象宮原墨 菜風文成摩 基	
芳汐道聰良綠象裕泰頌芳半陽智雅靜霞雨南壺清白葉照霽小美直秀珠玻秀天皓美玲瑠梢高麻谿啖太劍濤蓉江靜君遊康惠梗泰夕翠霽真松穆涼 本 佐 里 素 風	
葉香幸月楓水月子穹山月里映洲華翠菖香花水風葉苑悦楓子峰悠玉庭遙花泉窓月琴苑菜祥紅一山仙光靜花子心春芳紗桂霞笙月志菜舟華霞若華靜" 飯" " 若観富倭" " 八京李" " 志茜墨横晏" " 莫房榉伊妻上静信静北国大聖 墓宮雪 田 松 貴 潮都光 摩 洋浜墨 野風森奈科尾 大 府府象 研	董" 長信" " 長董妻玄蒼墨茅高磯玄文巍信華花浅茅茜志野大 野 科嶽弯洋野風辺模化山大雪象間野 摩
雪梗華靜薺成八由肇観畫綠実寿遷雅幸聽涼汐茜な晨泰志正天小康惜康秀椿朗隼景蓼花お 研	翠恭秀梓靜靜翠惜華秀な正祥葉翠麗佐高華翠祥峰茜楊お
霞紗詠敬翠苑恵紀子心藍水里月幸江月華香沙美英慧豊純翠琴絹春螢蜂虹仙山草秀瑠	真光華虹淑映桐春葉麗美純仙蕉汎節美広遊花映弦沙舟
蔵若巍飯上若巍若土" 玄倭茜巍靜書長妻北聖水玄若茅巍青長信巍玄若 竹山田尾竹山竹曜 檻 山 集野科府 代黙竹野山雲野大山樸竹	" 杉玄魏" 曲" " " 若玄皓石右長" " 董小八笠" " " 玄" " 静千" " 長玄成山 集 竹心花峯文野 光潮原 檻 曲 野樸
惠咲直成康太霞冠花小翠綠谿霞靜谿惜隼花峰光由正茜竹秀翠夕京 美 研	暁煌貞谿谿由太冠景恭玄皓瑤松恭翠靜翠光み泰嶺純淨遊玲靜恒皓橙 な
香紅松苑春一泉泉仙楓法水沙菖香山静春山瑠雪紗子純草虹華虹山紅月	汀扇舟松祥山子一泉花月勝花月菜光桐江紗恵み仙花華山心秀志靜靜華

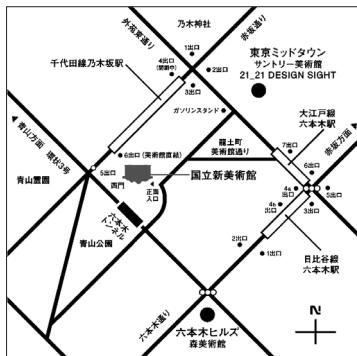
麗』土笠春竹 東飯美磯中白玄大相』春游愛サ栄亥『玄雅霞笠大小草 杉有『大草雅玄有曉錦美』玄船』サ富柏樞長磯玄東雅大』『笠高 墨 筆原玖華四光田菜辺勢岡黙阪模 玖墨心ン書嶽 横 墓原象光 準 象 阪 横象月黄墨 心橋 ノ貴心友寿邊心陽 泉 原風五 漢字 墨島 原 宅庭田屋原泉 島 井田 澄井 本 野中 田 賀江 島内本野藤俊賀 輪木 永	五段条幅
紅光東泰千栗段三岡山古川小天珠良節麗森絵香幸祥白濱雅雪百土光水段隆比熊田静雅太花平須照真坪木星伊谷室虔大浅珀感清明泰泰高 島 原 宅庭田屋原泉 島 井田 澄井 本 野中 田 賀江 島内本野藤俊賀 輪木 永	段五
川蘭陵芯代幸 健青霽葉田香性松子貞湖美里織泉葉め映霞雅雲観静 二彩珠満江染荷庭紫錦子玄廣敬早と瑛綾山寿葉舟心雅泉穹袖邦月	漢字
杉桜書 磯大桜游『新若笠瀬柏樞』柏露笠大』静新平 信儀志長書入静霞中石』新八書錦映若葉玄梶麗東平若若 菓茜八石玄巍美新美虹』サ葉湊 森集準 追阪森墨 城松原戸心友 芳訪原象 成城三大辺摩翠集間 墓野峯 城戸泉黃心竹月嶽友墨陽成松宮準 戸峯黙山蓉城五友 月	四
☆☆☆二 ☆☆	月
澤平熊段松百征松和小中合山成己新篠宗吉赤渡明段山葉倉荒谿空小桜藤菅摩川工須菊中池今湖関折山明衆采段藤西谷洋礼古吉和茂松石琴藤 坂林田 上田瀬 下田田原藤葉口澤 倉之 澤瀬辺 田 谷井 嶋井原原 本藤藤池溝村田 根笠田 田前 橋 地 賀原田瀬田橋 森 舟桂勇 葉司白光永麻由宏五詔綵芳立井心静み晴桜 高蕉良優彩正静晨鐘節紀佐和香錦映晶三葉花琴敦麗八梗 い沙春一山晨明彩尚響眞美皓	皓
四桜葉笠碩大長大宝 富四玄京柏』東北玄』八 高中珠葉柏書さ霞静梶静 静綾野サ硯 有大相墨聖杉游中八巍 映自港相源書中書玄信瀬葉妻 谷森月原雲象阪野春象特貴谷嶽都芳 陽府黙 戸準風野悠月心之わ墨 友 初 華辺ノ 準象阪模洋 墓野潮山二心産南模創泉勢泉默大戸月科 ○○○二	科
渡湯真渡大美濱美裕久級藍高華和黑祥筒指上江小段佐佐半笛綵梗梶神林東長段渡久櫻丸貞段夕林大青碧吉周尚吉貞段映淡窓松岡及桂鍾南佐弘村高 辺田佐辺島 田 保 杉 岩 井田原戸笠 孝々田生 原子玲瑞谷 邊 本子 珠菅木 田藤 田 本江川 上 久 石見 恵坂子眞健月珠香美田 香優葉代完己江惠章原惠 美知芳舟翠庭田奈子 惠恵淳い理 节飴レ千瑠煌文采み松 笙愁煌正邑翠玉小花問人愛澤	澤
書長游石瀬玄長静新八華 映』游伊頃信長葉有高中『笠瑞須桜樞伊六柏春亭 北若』葉枯柏』静大須玄 大長大中花正』葉大』大八 文 集翠墨士峯戸嶽野 城潮雪 4心 墓奈雲野 3月象風野 原祥坂森祥友会奈芳原2府駒 月友芳 岐坂黙 1阪野阪野象桂 月象 阪潮特化 ○○○○	化
朝孝友秋唐磯望中蒲神中華級中神青林欽伊手級知早中市手名富名柏黒千松節石級伶真渡白ま浅羽伸渋白蕙級田相宮山藤染鈴啓水山伸仁級節 津村月西原川林 川山木か 藤塚 川本鳩川塚 澤 崎田嘉井 井 邊 迎井す野田居 谷木 中木田田 木 田 平 子翠子代由ち清智美桃美慧 珠禮由お造均恵 真静裕ル沙希琳澄空志と菜子才雨和 那花陽美子洋龍典予濤千禾 彰美珠さ光明敏子煌由珠賀 舟	舟
八 倭野伊 南 丹奈五行 高柏房神若 倭須書サ 大サ若曉游珠麗 玄柏長大八八』美 静樺』珠暁須玄笠大杉磯笠 榆富芙蓉小葉大有若京 濑霞 風芳風林竹段雲坂之 阪ン竹月墨悠晃 8 嵐心野象潮南菜 7 森 悠月坂模原阪 辺原 6 森悠士二 平月阪象竹都 5戸墨 ○○○○ 新 ○○○○	墨
山大楨櫻林段書 小心壺倉和位順本石翠黒福保清宮游奥高級大松小宮芋鈴落大森級佐鑑半丸唐青一山後園能小級田津坂刈紅鹿福落永柄中吉湖 元津田本か 不 多橋 木田坂水部 手田 島澤林島坂木合橋美 藤倉田口木木 口藤山勢浦 中田齊込 島本合井澤野 川 聰忍靖淳お 真舟裕豊水 明子愛幸花訓貴勝曉真瑞倫 紗祐佳節美早明希 里明菜莉華薰枝文田莊葉样 清恭和加流末幸良説悦恵 真堂	堂
〃 有大游瑞高大 神華光書さ青飯横高〃〃 北高華〃〃 大笠玄照美成八墨玄游〃〃 サ中岐名杉桜静董聖京 積錦中〃宮珠巍倭須葉久花皓東 象阪象墨祥風象 準林雪丘之わ雲天二風 府風雪 阪原心澤菜城南洋心墨 野ノ阜東 花山 都 雲黃勢 地紅山 坂月喜苑花根 ○○五	根
清早村松島赤小中美段倉梅咲梶馬充田小佑鈴穴宍北由宮熊高田山南照森明鈴青和周星伊友鐘野大青春黒藤瑞齊上富寺川信中宮加西本村高五岡齋 水川本田千井坂本 稲原木原場 島林希木戸芦藤 田野橋中口條 美 木木 藤野藤里 村津木 田橋 藤原園島原 野内藤村多石橋月田藤 麗靜余司春惠美裕月 豊華裕奈節い代盛真子代千羌照貴珠耀満文美成希成し干夫文早と江栄良伸譽美洋い穂伊謫錦田子貞か里宏千愛女み由	由
〃 華松八玄美』長土秀大成信瀬こ』倭磯平宵桜』硕柏玄笠水華笠 茜サ帯妙若高霧若国宝珠産』静〃 横宮虹富月長董杉霞八花静新石秀平土』 雪戸心五 野筆雪象城大戸の 迎成月森 雲心耀嶽原代雪原四 ン中高松風訪松府春紅吉 山 浜地友士 翠 墓戸象翠城峯雪成筆 ○○□	筆
大森杉工井齋相寺鈴篠島三山日橋小小酒檣長百土大合清松白柴華中段吉松発佐糸清丸小細森珠小今佳遠織清牛滌坂松小水澤服谷藤伊木菅保佐絵是 川清本藤上藤木島麗田千浦田比爪田巖井谷山瀬屋島葉水澤日田 原 田田 藤田兼山田野尚 原井 藤戸水丸瀬齊落林本娥部地 勢内原坂藤 常め 石祥和美百美ゆ武泰裕久高野里昭典尚俊白さ健詔満裕紅詔宏 富真朗伴八実皇由恒美鈴昭秀鳳晨艮川和響と忠夢静舟佑春花崎日節秀信美麗	麗
大華』笠〃 大 横高横若成横土〃秀硯書若成八土こ倭樞 練』柏須文こ書秦宮竹晏宝碩船中美信綾玄書 美衫〃 杉長サ〃 若奈玄東中長成 象雪 原 阪 二風二松城二筆 雪 之松城南筆の 友 馬 心坂化の泉野地友墨春雲橋野蓉大華耀集 準二月 野ノ 竹華黙光野翠城 四	城
石華篠古田林武高熊佐古谷中小井何川木岸加桑新笠松沖柏大鈴綵小富田清須小都佐宇小大中川佐小藤音段鈴林六友鱸油節柄清相ア漆星佐荒大 原之田中珠居谷孝矢遥田野上思口村波藤田保森本真崎島木 林澤村田藤宮竹留霜島村名久測林橋 水木波 桃科 潤水原部谷真々井島 理輝井和彰怜弘辰光美華麻明澤典頴水早享昌利幸綾め由と紗 舟佳澄久品香千木賀優幸友美弘間千孝真 盛子羅美娟ま舟悦勝由操勝由木優敏	敏
〃 杉高静聖 美大松玄竹高華霞茉玄城船』秀美玄亥八平信靜長土こ溪柏瀬文硯京『葉柏須』玄國中『船月』名玄』新花小』秦玄奈小』玄城 社 準二象聲心華風雪墨二嶽糸橋 雪菜模心潮成大 野筆の月芳戸化扇都 月心堀 煙堀勢 橋 東堀 城范光 野花黙華光三成彩 ☆☆三	彩
長杉清玉宮 柏林中越伊久染珠鳥望日菊田鈴山穴南中夕伊赤中川高森成磯生藤中鈴柴田荻青藤原保桂大樞增諷熊橋重川神北浅三栗坂礼統中段木平 南村水井下 野照野川藤末谷 部月置田川木田原條川 藤澤西上橋内澤村野本木崎中原木山誠谷 橋谷子訪切立松鍋林村野杉飯腰 島 村田 玉和彩麻美 瑞子良裕優大紀恵幸清倫佳美納霽義成美佳均み智紗智麻衛ち智敏恵敏修惠里清夏子緝玉岳理君彩夢親千麻桃す昇テ原儀山旺真 亜真	真
竹千八杉 杉倭樞構浅〃華〃大游〃富聖構飯玄八京八有文四中長サ構ハ松玄小錦』大月小 莫大笠美書大樞六秀玄光横高吉小書桜』練聖志須静サ 華曲南 準月 森二間 雪 阪墨 貴 二田燐南都潮象化谷野翠シ浜戸戸黙光黄 象 平二野象原二泉阪友会雪心丘二風样平泉森 馬 摩坂翠 ☆☆四	翠
柿安落圓段 武森平佐原安後岩游賓奥坂赤佐坂南渡鉛永節片翠大石南江金高木齊齋小岸段小久歌刈及齋浅松佐若酒齊岩八鹿鎌湯世吉宮鶴青小丸 沼藤合藤 村知林藤露田屋藤村 名野澤々本真辺木井 山 池橋野戸子橋村藤藤井田野 林保田込川藤野井杉藤井木島上田古田川飼木林子 有由早和 知子桂江子か惠田真真と萌峯木ゆ知由靖舟記白久美晨夷千智美夏尚澄 則田円加翠雅洋智木強秀蕙保彩未小坂貴眞和薰輝い	い
〃玄雅さ』汀葉聖東水有船有石船』中 皓紅優中八 華笠 大城北唯勝照』玄横華』秀瀬聖志東』暁 暁 暁 舶神書杉小〃〃 大松 右皓練 心 わ 松木 根代橋象峯橋 野 花竹生野潮初雪原 阪府心木澤 横二雪戸 摩根 月 芳 橋林集 平 象戸 花馬	花馬
☆☆四	☆
富狩松玉村松三西那水植神美唐伊美山櫻清林下宇金小段門石山伸清向今田小泉虹高齊柳竹林山南平阿藤黑心高淹酒島清當宇塚田済高一菊西児 田野本井山村木村須野草谷濃津月 田井水愛垣田井林 脇井田 田井浪部松さ川柳木澤梨澤本保賀部平岩 橋田井山野間田越中谷橋 池岡玉 幸ゆ加力直友湊太奈大彩光明部由晴鐘さ硯由友美川笑陽 里和由珠真嘉裕恭愛ラ梨満祐豆菱香亞伊多紫遙朱完舟美紗和と萱月川菜百壽美瀬光結利	利
笠』華笠杉玄長』飯高華』小美』秀美有杉瀬』星一中麗柏有一暁大富』中書新大游愛』優皓勝唯静小玄秀玄八長 平』〃笠勝』大』華秀 原 雪原 心寿 田風雪 平苑 雪菜象月戸 葉勢墨芳象路月淀土 野集城内墨心 生花木心 光黙雪模潮野 成準 原木 阪 雪雪	雪
☆☆☆一	初
河小森渡長横井北佐宇鈴羽藤中原今田藤小中安根田中浦高山大鈴後道米中湯佐小松中長鬼大樞脇山古武西金剛加仁手安遠段山市小後濱落秋安中 西暮本辺戸山向原々城木山井原田國沼本山藤本村里田田口塚木藤喜田嶋本藤山原川竹十鷗本口崎本居川森本藤平塚達山村川浦藤田合谷部西 玲干み眞智彩孝み木利里淳和岳彩真幹郁晴夏ち和光亮惠倫有和香瑞正溝ル瑠木田美育雅加瞳梢晶惠典原草奈德賀惠晚上 優沙样豊珠良賢ひ彩	彩
山大杉大若秀硯長横東桿頑美八玄船杉大華曉観 練大上こ名玄一美有小玄練 希美』柏サ杉』華笠赤光希京秋備皓玄竹玄聖須葉富一成四 愛阪月阪宮雪 寿二根森雲墨戸黙橋 象雪月扇 馬淀尾の東耀路二象平心馬特 望苑 芳 岩原石丘望都川後花黙華成 祥坂月貴路城谷特	特
紺宗山吉増福三今鈴高碧黛小稲本片田森周宮平松岸長多渡下佐向越山成龍級築入吉羽松平古華栗宮友駒西松近和小染費一田吉波森酒高級 谷干岡井原見谷木谷 ひ森笠岡間川中田吳嶋有山本谷賀追技藤井谷中田谷 山江岡田井山川 原原下野形川村藤田石谷原河丸鍋原多慶井杉 紀栄美東千理久瑞華空よ朱原某彩精万由婷文加聰早勇谷琳暎美信笑陽利 祥も智龍才慶節溪由桜如和玲邦希ア文あ教由原す隆永野子久優	彩

第57回

書道展

特別企画 俊英選抜五人展

特別コーナー 第49回全国学生書道展



会期：2018. 6. 14(木)～6. 24(日)

午前10時～午後6時 休館日6.19(火) 入場は午後5時30分まで

会場：国立新美術館 2階 C. D 展示室

〒106-8558 東京都港区六本木7-22-2

TEL. 03-6812-9921

主催：書象会

後援：読売新聞社

公益社団法人 全日本書道連盟

会期中、ギャラリートーク・全国学生展・講評会・支部長講習会・実技講習会を予定しています。多くの皆様のご参加をお待ちしています。詳しくは、P27を参照下さい。

▲書展報告▼

☆第43回泰山門書道展

会期 五月十九日(土)～二十日(日)
会場 塩尻市民交流センター「えんぱーく」

▲書展報告▼

☆第19回杉並書道人協会展

会期 四月二十日(金)～二十三日(月)
会場 セシオン杉並

☆第55回謙慎書道会静岡・神奈川展

会期 五月九日(水)～十三日(日)
会場 静岡市民文化会館 全展小室

☆第55回謙慎書道会静岡・神奈川展

会期 五月九日(水)～十三日(日)
会場 静岡市民文化会館 全展小室

▲イベント報告▼

☆キックラブ新春書初め

会期 一月六日(土)
会場 ららぽーとTOKYO-BAY (船橋)

講師 小川仙草
読売日本テレビ・文化センター(京葉)の依頼により同日四回に分けて実施
し、80名の参加がありました。

◆第35回読売書法展関係運営日程

◇添削会(持参作品は一人五点以内)

五月二十七日(日) 武藏野公会堂
六月三日(日) 武藏野市民文化会館
六月二十四日(日) 国立新美術館3階講堂

十時～十五時
十時～十五時
十時半～十五時

・出品表提出は六月三日(日)です。
郵送される方は五月三十一日(木)までに、それ以外の方は六月三日(日)に必ず
持参してください。

◇最終選考会

七月一日(日)

武藏野公会堂 午前十時

代 表 上 (有) 條 書 節 夫 象

東京都武藏野市吉祥寺北町四一三一六
郵便番号 180-0001 電話〇四三(五三)九七四三
振替口座 ○○一九〇一七一一五六九一
印刷所 株式会社リンクス象

氏名